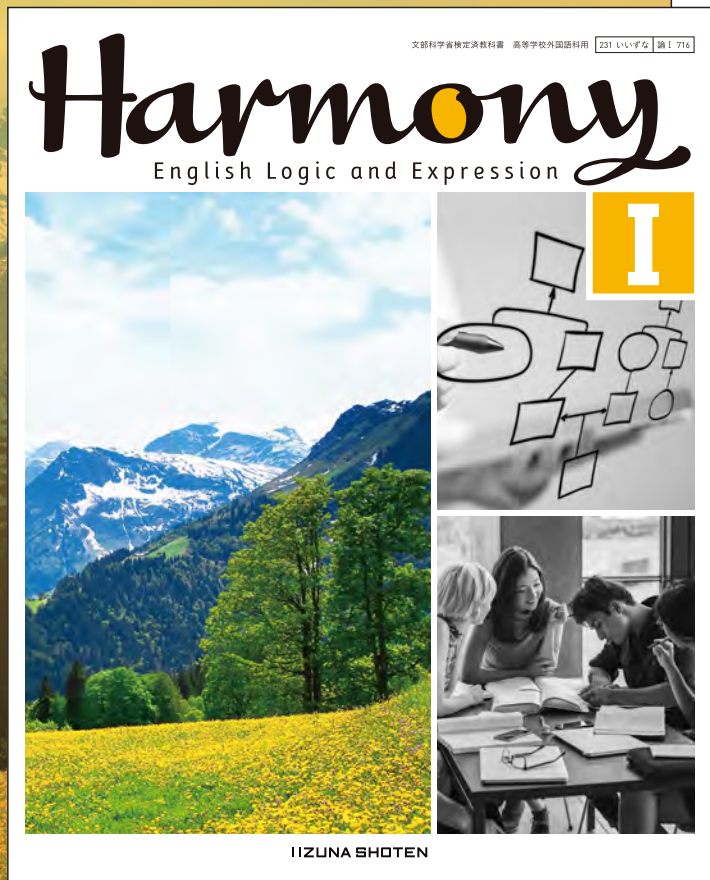


Harmony

English Logic and Expression



令和5年度用
論理・表現 I・II 教科書
ダイジェスト版



1. 文法を軸に表現力の基礎を養成
2. 演習→発信活動のスムーズな橋渡し
3. 豊富なイラストで理解をサポート

IIZUNA SHOTEN

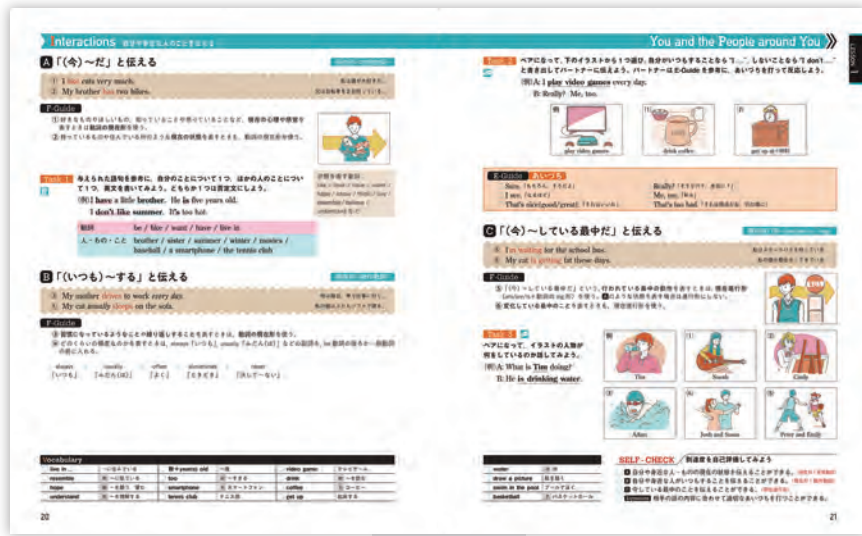
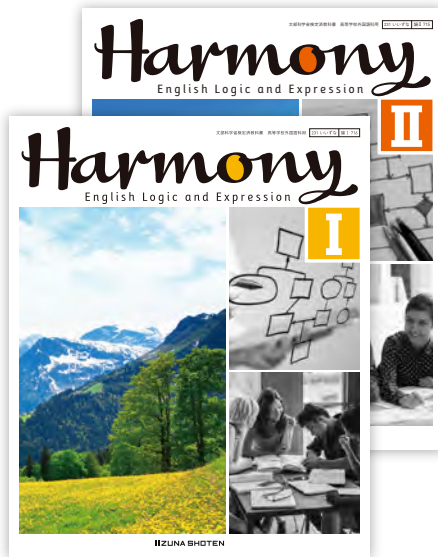
Harmony シリーズ

関連教材

論理・表現 I・II 教科書

楽しく英語を使いながら文法力を身につける

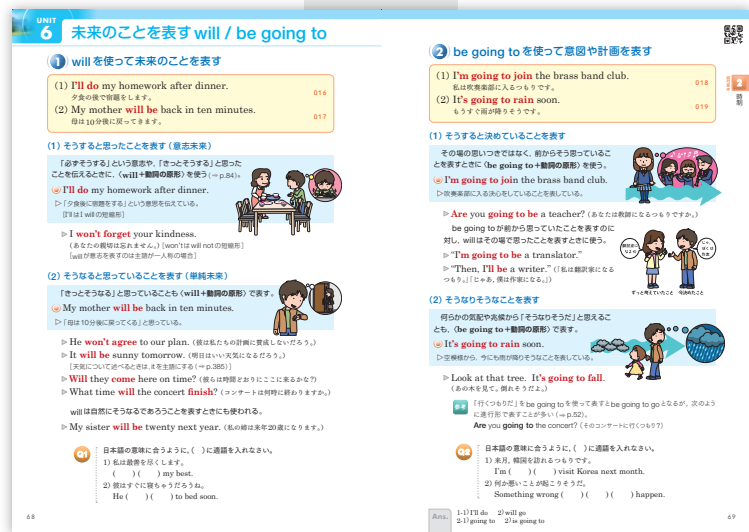
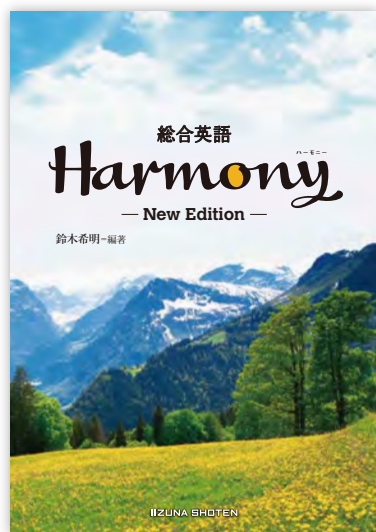
レベル	基礎
判型	AB判
ページ	I 本文128頁, 折込6頁 II 本文112頁, 折込6頁



対応参考書

教科書との併用学習で文法理解をより深める

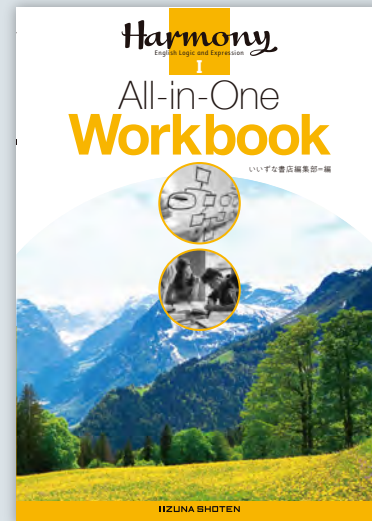
Iと基本例文
完全一致



さまざまな授業スタイル・授業目的をカバーする
生徒用, 指導用の多彩なバックアップ教材



生徒用

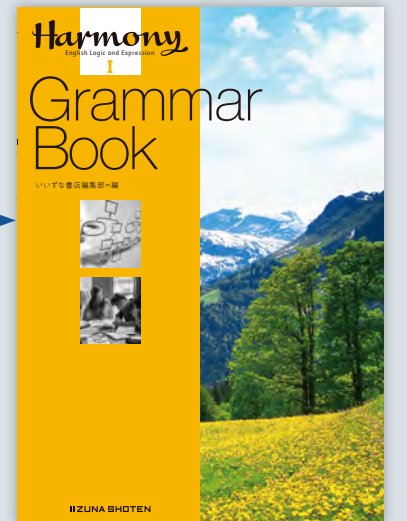


All-in-One Workbook I/II
アウトプットの基礎力養成

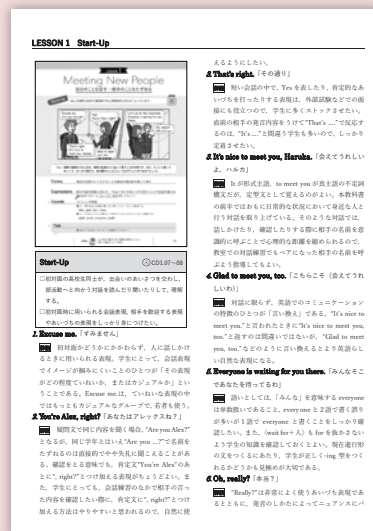
Grammar Book I
文法学習徹底サポート

デジタル教科書/
デジタル教科書(教材)
[共にクラウド版]

音声 CD
I : 2 枚 / II : 未定



指導用



指導資料セット I/II

- 1 指導書本冊
- 2 Teacher's Book
- 3 補助プリント
- 4 小テスト・評価問題
- 5 指導用データ DVD-ROM (指導用パワーポイント含む)

- 高校英語の橋渡しに..... 3
- 例文暗唱と反復学習に..... 3
- 習熟度確認..... 4 5
- 英語で展開する授業に..... 2
- アクティブ・ラーニングに..... 3
- エッセイライティングに..... 5
- 場面別英会話の
ロールプレイに..... 5

デジタル教科書(教材)
[アプリ版/
クラウド版]

音声 CD
I : 8 枚組 / II : 未定

文法を軸とするシンプルな4ページ構成

- ▶ **1** 導入 (1 頁目)
- ▶ **2** 定着 (2, 3 頁目)
- ▶ **3** 発展 (4 頁目) の3ユニット構成。
- ▶ **1** 文法・機能表現を含むモデル会話 (導入)
- ▶ **2** 文法解説とTask (定着)
- ▶ **3** 文法・機能表現を使った自己発信活動 (発展) を通して、論理的思考と表現力を養成。

+ PLUS



Introductionで語順感覚の基礎を学習

本課18課を学ぶ前に、Introductionとして、英語表現の基礎を体系的に学習できます。

- 文章のパーツ・品詞の説明
- 5文型の基礎を復習 → Try クイズ付き

1 モデル会話で導入

LESSON 1

Meeting New People

自分のことを話す・相手のことをたずねる

Start-Up Alex が国際交流部の活動場所である視聴覚室に向かおうとしています。

Excuse me. Are you Haruka?
Yes! You're Alex, right?
Let's go to the classroom. Everyone is waiting for you there.
Oh, really? OK! Let's go.
That's right. It's nice to meet you, Haruka.
Glad to meet you, too.

Tips: 英語で会話をするときは、相手の名前を口に出して言うことが大切です。また、にっこり笑ってゆっくり、はっきり話すと、初対面の人もスムーズなやりとりができるでしょう。

Forms 現在の状態やいつもすることは動詞の現在形を使って表す

Expressions 相手の話の内容に合わせて、「Sure」などのあいづちを打つことで会話を続ける
会話中に出てくる「あいづち」意図を探してみよう!

Sounds /i/と/e/の発音
● /i/…舌の先を上唇裏の奥ぐきに押しつけて「ル」と発音する。
Alex, glad, let's, class
● /e/…口を丸く「ウ」の形にして舌の先をどこにもつけない「ル」と発音する。
right, room, everyone, really

Talk Alex と Haruka になりきって会話をしてみよう!

Alex Lee 先生に助けてもらって国際交流部に入った。
楽しい部活だといふ。

Start-Up

さまざまな場面の会話を通して、英語の基本形や語順、コミュニケーションに必要な表現、発音・アクセントを意識しながら、話す練習をします。

2 文法項目別にTaskで学習

Interactions 自分や身近な人のことを伝える

A 「(今)〜だ」と伝える

① I like cats very much.
② My brother has two bikes.

E-Guide
① 好きなものやほしいもの、知っていることや思っていることなど、現在の心理や感覚を表すときは動詞の現在形を使う。
② 持っているものや住んでいる所のような現在の状態を表すときは、動詞の現在形を使う。

Task 1 与えられた語句を参考に、自分のことについて1つ、ほかの人のことについて1つ、英文を書いてみよう。どちらか1つは否定文にしよう。
(例) I have a little brother. He is five years old.
I don't like summer. It's too hot.

動詞 be / like / want / have / live in
人・もの・こと brother / sister / summer / winter / movies / baseball / a smartphone / the tennis club

B 「(いつも)〜する」と伝える

③ My mother drives to work every day.
④ My cat usually sleeps on the sofa.

E-Guide
③ 習慣になっているようなことや繰り返すことを表すときは、動詞の現在形を使う。
④ どのくらいの頻度なのかを表すときは、always「いつも」、usually「ほとんど(は)」、sometimes「ときどき」、never「決して〜ない」などの副詞を、be 動詞の後か一般動詞の前に入れる。

副詞 always「いつも」 usually「ほとんど(は)」 often「よく」 sometimes「ときどき」 never「決して〜ない」

Vocabulary

live in ...	〜に住んでいる	live + year(s) old	〜歳	video game	テレビゲーム
resemble	似〜に似ている	too	〜すぎる	drink	飲〜を飲む
hope	望〜を願う、望む	smartphone	スマートフォン	coffee	コーヒー
understand	理〜を理解する	tennis club	テニス部	get up	起床する

Interaction

A 「(今)〜だ」と伝える

① I like cats very much.
② My brother has two bikes.

E-Guide

Task 2 ペアになって、下のイラストから1つ選び、自分がいつもすることなら「I...」、しないことなら「I don't...」と書き出してパートナーに伝えよう。パートナーはE-Guideを参考に、あいづちを打って反応しよう。
(例) A: I play video games every day.
B: Really? Me, too.

E-Guide あいづち
Sure, もちろんだ。 そうだよ。 Really? そうなの?、本当に?。
I see, (なるほど) Me, too. (私も)。
That's nice/good/great!, (それはいいね) That's too bad. (それは残念だね、気の毒に)。

C 「(今)〜している最中だ」と伝える

⑤ I'm waiting for the school bus.
⑥ My cat is getting fat these days.

E-Guide
⑤ 「(今)〜している最中だ」という、行われている最中の動作を表すときは、現在進行形 (am/are/is + 動詞の ing 形) を使う。⑥ どのような状態を表す場合は進行形にしない。
⑥ 変化している最中のことを表すときは、現在進行形を使う。

Task 3 ペアになって、イラストの人物が何をしているのか話してみよう。
(例) A: What is Tim doing?
B: He is drinking water.

SELF-CHECK 到達度を自己評価してみよう

water	水	draw a picture	絵を描く	swim in the pool	プールで泳ぐ	basketball	バスケットボール
-------	---	----------------	------	------------------	--------	------------	----------

● 自分や身近な人・ものの現在の状態を伝えることができる。(現在形 | 現在動詞)
● 自分や身近な人がいつもすることを伝えることができる。(現在形 | 動作動詞)
● 今している最中のことを伝えることができる。(現在進行形)
● 相手の話の内容に合わせて適切なあいづちを打つことができる。

Interactions

3つの文法項目を例文と解説で学習し、話す・書く・ペアワークというタスクを通して、コミュニケーションに必要な知識と技能を身につけます。

3 応用としての自己発信

Active Learning 自己紹介

Write 自己紹介の文を書く
次の文章を参考に、5文以上で自己紹介を書いてみよう。

Hello, everyone. My name is Yamada Sakura. I went to Nakahata Junior High School. I like K-pops. My favorite singer is JJ. I want to visit Korea some day. Nice to meet you.

Hints for Logical Writing
自己紹介では名前やニックネーム、出身校などの自分についての(大きな情報)、次に興味のあることや将来の計画など自分をよく知ってもらうための(より個人的な情報)という順で書く。伝わりやすくなります。

Share 自己紹介をする
グループになって、次の手順を参考に、1人ずつ自己紹介をしよう。

1 あいさつ Hi, everyone.
2 大まかな情報 My name is Sato Hinata. Please call me Hina. 出身校、住んでいる場所など I went to Sakura Junior High School. I live in Nanairo City.
3 より個人的な情報 好きなもの、ことなど I like tennis very much.
4 あいさつ Nice to meet you.

Plus 住んでいる場所についてひと言プラス。(I live in Kagawa. It's famous for udon.)
好きなもの・ことについてひと言プラス。(I want to join the school tennis club.)
家族やペット、趣味についてひと言。(I have a white cat, and her name is Momo.)

SELF-CHECK 到達度を自己評価してみよう

- 自分であることを説明する英文を書くことができた。
- 示された質問にそって自己紹介をすることができた。
- グループのメンバーとアイコンタクトをとりながら話すことができた。

Active Learning

設定されたテーマについて話す・書くという発信活動を行うことで、論理的に考え、判断し、表現する力を身につけます。

		Harmony I	Harmony II
英語の語順	5文型	○	—
	平叙文（肯定文・否定文）・疑問文	○	—
	文と文をつなぐ接続詞	○	—
時制	現在形・過去形・未来の表現, 進行形	○	○
	現在完了・現在完了進行形	○	○
	過去完了・過去完了進行形	※	○
助動詞	can/be able to/may/must/have to/should（基本の意味）	○	○
	can/may/must/should（認識の意味）	○	○
	助動詞+have+過去分詞	※	○
受動態	受動態〈be+過去分詞〉	○	○
	助動詞を含む受動態・受動態の完了形	—	○
	by以外をとる受動態	○	○
不定詞	基本3用法（名詞用法・形容詞用法・副詞用法）	○	○
	不定詞の主語	○	○
	ask/tell/allow/get+人+to do	○	○
	使役動詞・知覚動詞	○	○
	seem to do	—	○
	副詞用法（形容詞限定）	—	○
動名詞	基本の動名詞（S, C, O）	○	○
	動名詞の主語・否定形	○	○
	動名詞の完了形・受動態	—	○
	動名詞と不定詞	—	○
分詞	基本の分詞（限定用法・叙述用法）	○	○
	分詞形容詞	○	○
	〈被害〉・〈使役〉を表す分詞	○	○
	知覚動詞+O+分詞	○	○
	分詞構文	○	○
	付帯状況	—	○
関係詞	関係代名詞（限定用法）・what	○	○
	関係代名詞（非限定用法）	※	○
	関係副詞（限定用法）	○	○
	関係副詞（非限定用法）	※	○
比較	基本の原級・比較級・最上級	○	○
	倍数・分数・差の表現	○	○
	one of the 最上級+複数形	○	○
	The+比較級~, the+比較級	○	○
	as ~ as possible[S can]	○	○
仮定法	仮定法過去	○	○
	仮定法過去完了	※	○
	過去の事実が現在に影響を及ぼす仮定法	—	○
	wish / if only+仮定法	○	—
	as if / It's time+仮定法	○	—
	「もし〜がなければ／なかったら」	—	○
否定・疑問文	hardly/rarely	※	○
	部分否定・全否定	※	○
	付加疑問・間接疑問	※	○
時制の一致と話法	時制の一致	※	○
	話法	※	○
さまざまな構文	insist/demand (that)+主語+(should)+動詞の原形	—	○
	無生物主語	—	○
	強調構文	—	○

※の項目は、Harmony I 準拠 Grammar Book には発展項目として掲載されています。

Harmony I

内容の紹介

文部科学省検定済教科書 高等学校外国語科用 231 いいずな 論 I 716

Harmony

English Logic and Expression

IIIZUNA SHOTEN

CONTENTS

英語表現の基礎として
品詞と5文型を学習

Introduction

- Step 1: 自分のことを伝えよう! [英語の語順]p.7
Step 2: 情報を聞き出そう! [英語の文の種類]p.13
Step 3: 文章にまとめて発表しよう! [英語の文のつなぎ方]p.16

1st Zone 自分のことや身近な人のことを話す

LESSON 1 Meeting New People 自分のことを話す・相手のことをたずねる pp.19-22

Start-Up Conversation

- Forms** 現在の状態やいつもすることは動詞の現在形を使って表す
Expressions 相手の話の内容に合わせ, "Sure." などのあいづちを打つことで会話を続ける
Sounds /l/ と /r/ の発音
Talk

Interactions 自分のことや身近な人のことを伝える

- A** 「(今)〜だ」と伝える **現在形(状態動詞)**
B 「(いつも)〜する」と伝える **現在形(動作動詞)**
C 「(今)〜している最中だ」と伝える **現在進行形 (am/are/is-ing)**
Vocabulary

Active Learning

- 自己紹介**
Write 自己紹介の文を書く
Share 自己紹介をする

LESSON 2 Last Weekend 休日にしたことを説明する pp.23-26

Start-Up Conversation

- Forms** 過去にしたことや過去の状態は動詞の過去形を使って表す
Expressions 実際にしたこと(=事実)と感じたこと(=意見・感想)を織りまぜる
Sounds /t/ と /d/ の発音
Talk

Interactions 休日にしたことを伝える

- A** 「(あのとき)〜だった/〜した」と伝える **過去形(状態動詞・動作動詞)**
B 「(あのとき)〜している最中だった」と伝える **過去進行形 (was/were-ing)**
C 「(昔は)よく〜した/〜だった」と伝える **過去とは異なる過去の習慣・状態 (used to+動詞の原形)**
Vocabulary

Active Learning

- 先週末のこと**
Share 先週末にしたことやその感想をたずねる・話す
Write 先週末にしたことやその感想を書く

LESSON 3 Weekend Plans 自分の予定を話す・相手の予定をたずねる pp.27-30

Start-Up Conversation

- Forms** 未来のことは (will+動詞の原形) や (be going to+動詞の原形) を使って表す
Expressions 時刻や場所などを知りたいときは適切な疑問詞を使ってたずねる
Sounds 「ア」の発音① /n/ と /a/ の発音
Talk

Interactions これからのことを伝える

- A** 「〜します/〜するだろう」と伝える **(will+動詞の原形)**
B 「〜するつもりだ/〜しそうだ」と伝える **(be going to+動詞の原形)**
C 「〜したら/もし〜なら」などと未来の想定を伝える **(When/if+主語+現在形...)**
Vocabulary

Active Learning

- 今後の予定**
Write 週末の予定を書く
Share 外出に誘う

LESSON 4 A Short Trip したことがあること・ないことについて話す pp.31-34

Start-Up Conversation

- Forms** もう終えたこと, したことがあること, 続けていることは, 現在完了形を使って表す
Expressions 相手に話しかけて, 会話のきっかけをつくる
Sounds /t/ と /v/ の発音
Talk

Interactions 旅行や移動について伝える

- A** 「(すでに)〜している/〜したところだ」と伝える **現在完了形 (have+動詞の過去分詞) (完了・結果)**
B 「(今までに)〜したことがある」と伝える **現在完了形 (have+動詞の過去分詞) (経験)**
C 「(今まで)ずっと〜している/〜してきた」と伝える **現在完了形・現在完了進行形 (have been-ing) (継続)**
Vocabulary

Active Learning

- 珍しい体験**
Share 珍しい体験について話す
Write 珍しい体験について書く

- 1st Zone Review 時と状況の表し方(動詞の形)p.35
■ Keep Talking Scene 1 移動するp.36
■ COMMUNICATION TIPS 1 ノンバーバル・コミュニケーションp.37
■ スピーチをしてみよう!p.38

2nd Zone 日々の生活のことを話す

LESSON 5 School Rules してもよいこと・してはいけないことを伝える pp.41-44

Start-Up Conversation

- Forms** してもよいこと・してはいけないことは助動詞を使って表す
Expressions ルール違反などをしてしまったときは「ごめん」「気をつけるよ」と言う
Sounds 「ア」の発音② /æ/ と /a/ の発音
Talk

Interactions 学校生活について伝える

- A** 「〜できる」と伝える **can/be able to/may/可能・許可**
B 「〜しなければならない/すべきだ」と伝える **must/have to/should(義務・必要)**
C 「〜してくれませんか」と依頼する **Will you...? (依頼)**
Vocabulary

Active Learning

- 規則・校則**
Share 規則について話す
Write 規則について書く

LESSON 6 Are You All Right? ある出来事について推測する pp.45-48

Start-Up Conversation

- Forms** ある出来事について推測するときは助動詞を使って表す
Expressions 「どうしたの?」と具合や調子をたずねる
Sounds gh の発音
Talk

Interactions 出来事について推測したことを伝える

- A** 「〜ということもある/〜かもしれない」と伝える **can/may/可能性・推測**
B 「〜にちがいない/〜のはずだ」と伝える **must/should(確信・推測)**
C 「〜したかもしれない/〜すべきだった」などと伝える **(動動詞+have+過去分詞)**
Vocabulary

Active Learning

- 推量・推測**
Share 忘れ物について電話でやりとりする
Write 不思議なものについて推測して書く

- Keep Talking Scene 2 道をたずねるp.49
■ COMMUNICATION TIPS 2 相手に応じたことばづかいp.50

LESSON 7 Things Japanese さまざまなものを紹介する pp.51-54

Start-Up Conversation

- Forms** 人・ものが「〜される」と説明するときは受動態を使って表す
Expressions 聞き取れなかったことを「今何て言った?」と聞き直す
Sounds /s/ と /ʃ/ の発音
Talk

Interactions 日本のものについて説明する

- A** 「〜される」と伝える **受動態 (be+過去分詞)**
B 「〜される, 〜された」ことについてたずねる **受動態の疑問文**
C 「...で〜される」と伝える **(be+過去分詞+with/at/for/of+もの+こと)**
Vocabulary

Active Learning

- 日本のもの**
Write 日本のものを紹介する文を書く
Share 日本のものを紹介する

- 2nd Zone Review 助動詞の意味と受動態の使い方p.55

3rd Zone したいことやしていることを話す

LESSON 8 Talking about Dreams これからしたいことについて話す pp.57-60

Start-Up Conversation

- Forms** これから先のことや, したいと考えていることは不定詞を使って表す
Expressions 「がんばれ」と励ます
Sounds 消えたように聞こえる音
Talk

Interactions これからしたいことや将来のことを伝える

- A** 「〜することは.../...は〜することだ」と伝える **不定詞(名詞用法) 主語・補語**
B 「〜することを...する」と伝える **不定詞(名詞用法) 目的**
C 「...が〜すること/〜しないこと」と伝える **不定詞の主語・否定形**
Vocabulary

Active Learning

- 将来の夢**
Share 将来の夢について話す
Write 将来の夢について書く

LESSON 9 To Keep Fit 足りない情報を補う・説明を付け加える pp.61-64

Start-Up Conversation

- Forms** 「〜するための」という説明を加えるときは不定詞を使う
Expressions 「なぜ〜なのですか」と理由をたずねるときは「Why...?」を使う
Sounds つながる音
Talk

Interactions 健康・食事・運動について伝える

- A** 「〜するための.../〜すべき...」と伝える **不定詞(形容詞用法)**
B 「〜するために」と伝える **不定詞(動詞用法) 目的**
C 感情が動いた原因・判断の根拠を伝える **不定詞(動詞用法) 原因・結果**
Vocabulary

Active Learning

- 健康な生活**
Share 健康のためにしていることについて話す
Write 健康維持のコツについて書く

LESSON 10 Our Future Devices あるもの・人によって可能になることについて話す pp.65-68

Start-Up Conversation

- Forms** 「人に〜させる, できるようにする」は不定詞や動詞の原形を使って表す
Expressions 「それ何?」と見たことがないものや使い方がわからないものについてたずねる
Sounds /ei/ の発音
Talk

Interactions 新しいテクノロジーについて伝える

- A** 「人に〜してほしい/〜させてあげる」と伝える **(let+人+to do)**
B 「人に〜させてあげる/〜してもらう/〜させる」と伝える **使役動詞**
C 「...が〜するのを見る/聞く/感じる」と伝える **知覚動詞**
Vocabulary

Active Learning

- テクノロジー**
Share ロボット・機器にしたいことを話す
Write 夢のロボットについて書く

LESSON 11 Talking about Likes and Dislikes するのが好きなこと・きらいなことについて話す pp.69-72

Start-Up Conversation

- Forms** 「〜すること」を表すときに動名詞を使う
Expressions 相手の提案や依頼に対して「いいよ」「喜んで」と返事をする
Sounds /n/ と /g/ の発音
Talk

Interactions 好きなことやきらいなことを伝える

- A** 「〜することは.../...は〜することだ」と伝える **動名詞(主語・補語)**
B 「〜すること...」と伝える **動名詞(目的語)**
C 「...が〜すること/〜しないこと」と伝える **動名詞の主語・否定形**
Vocabulary

Active Learning

- 趣味・楽しみ**
Write 自分の趣味について書く
Share クラスメイトの趣味をたずねる・自分の趣味を紹介する

- Keep Talking Scene 3 買い物をするp.73
■ パラグラフを書いてみよう!p.74

LESSON 12 Reporting Something Unusual 変わった生き物などについて説明する pp.77-80

Start-Up Conversation

- Forms** 「〜している...」と直前または直後の名詞に情報を加える
Expressions もの・ことによって引き起こされた驚き, 喜びなどを表す
Sounds /i/ と /i:/ の発音
Talk

Interactions 珍しい体験について伝える

- A** 「〜している.../〜された...」と直前・直後の名詞に情報を加える **現在形(現在用法)**
B もの・ことによって引き起こされた驚き・喜びなどを表す **現在形(動詞用法)**
C 「〜の状態に」と主語・目的語を説明する **現在形(動詞用法)**
Vocabulary

Active Learning

- 人やものの説明**
Write 人や生き物について書く
Share 私は何でしょう?

LESSON 13 Being in Trouble トラブルの相談をする pp.81-84

Start-Up Conversation

- Forms** 動詞のあとで「(名詞を)〜の状態に」と説明する
Expressions 「かわいそうに」と同情・共感の気持ちを表す
Sounds /z/ と /vz/ の発音
Talk

Interactions トラブルについて伝える

- A** 「...を〜してもらう/される」と伝える **(get/have+名詞+過去分詞)**
B 「...が〜している/されるのを見る/聞く」と伝える **(look/see+名詞+動詞)**
C 「〜するとき/〜しながら」と文に情報を加える **分詞構文**
Vocabulary

Active Learning

- トラブル**
Share 修理の依頼をする
Write トラブルについて書く

- 3rd Zone Review 準動詞(不定詞・動名詞・分詞)のはたらきp.85
■ Keep Talking Scene 4 トラブルに対処するp.86
■ COMMUNICATION TIPS 3 言外の意味p.87

Point

英文の基本。主語+動詞を意識して, 自分や身近な人のことを話す

Point

助動詞を使いながら, 日々の

Point

Point

不定詞, 動名詞, 分詞を使いながら, したいことやしていることを話す

CONTENTS

Point

関係詞や比較表現を使いながら、自分の考えを話す

4th Zone 説明する・自分の考えを話す

LESSON 14 Great Achievements 有名人や、彼らの功績について説明する pp.89-92

Start-Up Conversation

Forms 名詞を文で説明するときに関係代名詞を使う
Expressions 「～だよな? / ～じゃない?」と相手に同意を求めたり、確認したりする
Sounds /p/ と /b/ の発音
Talk

Interactions 人物について説明する

A 「～する+名詞」と伝える
B 「…が～する+名詞」と伝える
C 「～するもの/こと」と伝える

関係代名詞(主格)
関係代名詞(目的格)
関係代名詞(what?)

Vocabulary

Active Learning

人物紹介
Write あこがれの人を紹介する文を書く
Share あこがれの人を紹介する

Active Learning 資料 世界の偉人たち..... p.93
Pre-LESSON SDGs のためにできること..... p.94

LESSON 15 What's SDGs? 場所や時についての説明を追加する pp.95-98

Start-Up Conversation

Forms 場所や時について説明を追加するときは関係副詞を使う
Expressions 「なんて～だろう!」と驚き、喜び、悲しみなどの気持ちを表す
Sounds /m/ の発音
Talk

Interactions 世界の問題を場所や時を絡めて伝える

A 「…が～する/～である場所」と伝える
B 「…が～する/～であるとき」と伝える
C 「…が～する/～である理由・方法」と伝える

関係副詞(when)
関係副詞(when)
関係副詞(why/how)

Vocabulary

Active Learning

場所の説明
Share 行ってみたい世界遺産について話すすすめ場所を紹介する文を書く
Write

Active Learning 資料 世界遺産..... p.99
Pre-LESSON 地球温暖化とは?..... p.100

LESSON 16 Climate Change 程度などを比べて説明する pp.101-104

Start-Up Conversation

Forms 2つのものを比較して「同じくらい～」「～よりも～」と伝える
Expressions 「～に…がある」の表現
Sounds /ə/ の発音
Talk

Interactions 気候を比較して伝える

A 2つが「同じくらい～」と伝える
B 「～の…倍」「～の半分」と伝える
C 2つを比べて「～よりも～」と伝える

原形(原形+as) 副詞の原形+as
倍率・分数表現(倍率・分数+as... as)
比較級(原形+er) 副詞の比較級+than...

Vocabulary

Active Learning

都市や国の比較
Share 都市の基本データを比較する
Write 行ってみたい国と日本を比較する

Active Learning 資料 世界の都市..... p.105
Pre-LESSON 食品ごみと食品ロス..... p.106

LESSON 17 Food Waste データを比較しながら身近な社会問題について話す pp.107-110

Start-Up Conversation

Forms いくつかの中で「最も～/いちばん～」と伝えるときは最上級を使う
Expressions 「～しよう」と提案する
Sounds th の発音
Talk

Interactions 社会問題のデータを比較して伝える

A いくつかの中で「最も～/いちばん～」と伝える
B 「最も～なひとつ」「飛び抜けていちばん～」と伝える
C 「できるだけ～」「～すればするほど、ますます…」と伝える

最上級(原形+est) 最上級(原形+est)
最上級を使う表現
比較を使う表現

Vocabulary

Active Learning

食品ごみ
Share 食品ごみを減らす方法について話し合う
Write 食品ごみ問題について書く

Active Learning 資料 食品ごみを減らすコツ..... p.111
プレゼンテーションをしてみよう!..... p.112
Pre-LESSON 社会問題に関心をもとう..... p.114

LESSON 18 Water Problem 違う人の立場に立って話す pp.115-118

Start-Up Conversation

Forms 「もし～なら」と事実と異なることを仮定して話す
Expressions 「～したい」という願望を表現する
Sounds /k/ と /g/ の発音
Talk

Interactions 別の立場から世界の問題について論じる

A 現実とは違う想像の話を伝える
B 「～ならなあ」「～でさえあれば」と伝える
C 「まるで～かのように」「～そろそろ～するころだ」と伝える

仮定法過去
(wish / if only + 仮定法)
(as if / as though + 仮定法)

Vocabulary

Active Learning

文化間の違いと世界の問題
Write 国や地域、文化間の違いについて書く
Share 違う人の立場に立って社会問題について話す

4th Zone Review 関係詞の使い方と比較の文と仮定法の文の作り方..... p.119
Sing-Along: We Are the World 25 for Haiti..... p.120
Start-Up Conversation 日本語訳..... p.122
発音記号と発音のしかた..... p.124
Functional Index(機能別さくいん)..... p.126
Lexical Index(語い別さくいん)..... p.127

Harmony English Logic and Expression



QRコードについて

本教科書では紙面上のQRコードを読み取ることで例文などの音声や動画を聞いたり、関連動画を見たりすることができます。音声や動画を再生する際にはデータ通信を行うため、通信事業者に対する通信料が発生します。長時間視聴の場合は、Wi-Fi環境でのご利用を推奨します。

IIZUNA SHOTEN

1st Zone

自分のことや身近な人のことを話す

1st Zone では、自分のことや身近な人のことを話すことができます。自分や家族のことを紹介したり、週末にしたことや旅行の思い出を話したり、休みの予定について話したりします。

ペアやグループになって会話をするときには、相手の話をよく聞いて、それに反応したり、問いかけたりすることで、会話が続くようにしましょう。文章を書いたり発表したりするときは、自分の伝えたいことが伝わるような正しい英語になっているかどうか、相手に伝わるような話し方ができているかどうか意識しましょう。この Zone では、いつのことを表すのかを意識して、英語の動詞を正しい形で使えるようにします。

LESSON 1 自分のことを話す・相手のことをたずねる

LESSON 2 休日にしたことを説明する

LESSON 3 自分の予定を話す・相手の予定をたずねる

LESSON 4 したことがあること・ないことについて話す

LESSON 1

Meeting New People

自分のことを話す・相手のことをたずねる

QRコードを読み取って、音声や発音の動画を確認できます。



Start-Up

Alex が国際交流部の活動場所である視聴覚室に向かおうとしています。



高校生によるモデル会話。
レッスンで学ぶ文法と機能表現が含まれています。

円滑な会話のヒント

Tips : 英語で会話をするときには、相手の名前を口に出して言うことが大切です。また、にっこり笑ってゆっくり、はっきり話すと、初対面の人ともスムーズなやりとりができるでしょう。

本課で学ぶ文法項目の事前チェック

Forms

現在の状態やいつもすることは動詞の現在形を使って表す

会話で使われる機能表現の事前チェック

Expressions

相手の話の内容に合わせ、"Sure." などのあいづちを打つことで会話を続ける

会話中に出てくる「あいづち」表現を探してみよう！

Sounds

/l/ と /r/ の発音

発音の学習

● /l/...舌の先を上前歯の歯ぐきに押しつけて「ル」と発音する。

Alex, glad, let's, class

● /r/...口を丸く「ウ」の形にして舌の先をどこにもつげずに「ル」と発音する。

ペアワークで
会話練習

nt, room, everyone, really

Talk

● Alex と Haruka になりきって会話をしてみよう！

Alex



Lee 先生に勧められて国際交流部に入った。
楽しい部活だといいなあ。

Interactions 自分や身近な人のことを伝える

A 「(今)～だ」と伝える

- ① I **like** cats very much.
② My brother **has** two bikes.

文法を使う目的や
文法が表す意味を解説

現在形(状態動詞)

私は猫が大好きだ。
兄は自転車を2台持っている。

F-Guide

- ① 好きなものやほしいもの、知っていることや思っていることなど、現在の心理や感覚を表すときは動詞の現在形を使う。
② 持っているものや住んでいる所のような現在の状態を表すときも、動詞の現在形を使う。

学習した内容の理解を
チェックするための Task

Task 1 与えられた語句を参考に、自分のことについて1つ、ほかの人のことについて1つ、英文を書いてみよう。どちらか1つは否定文にしよう。

(例) I **have** a little **brother**. He **is** five years old.

I **don't like** summer. It's too hot.

動詞	be / like / want / have / live in
人・もの・こと	brother / sister / summer / winter / movies / baseball / a smartphone / the tennis club

状態を表す動詞：
like / love / have / want / hope / know / think / live / resemble / believe / understand など

知っておきたい
プラスαのミニコラム

B 「(いつも)～する」と伝える

- ③ My mother **drives** to work *every day*.
④ My cat *usually* **sleeps** on the sofa.

現在形(動作動詞)

母は毎日、車で仕事に行く。
私の猫はふだんソファで寝る。

F-Guide

- ③ 習慣になっているようなことや繰り返すことを表すときは、動詞の現在形を使う。
④ どのくらいの頻度なのかを表すときは、always 「いつも」、usually 「ふだん(は)」などの副詞を、be 動詞の後ろか一般動詞の前に入れる。

always > usually > often > sometimes > never
「いつも」 「ふだん(は)」 「よく」 「ときどき」 「決して～ない」

レッスンのテーマについて発信する際に
役立つ語彙・フレーズ

Vocabulary

live in ...	…に住んでいる	数+year(s) old	～歳	video game	テレビゲーム
resemble	動 似に似ている	too	副 すぎる	drink	動 ～を飲む
hope	動 ～を願う、望む	smartphone	名 スマートフォン	coffee	名 コーヒー
understand	動 ～を理解する	tennis club	テニス部	get up	起床する

You and the People around You

Task 2 ペアになって、下のイラストから1つ選び、自分がいつもすることなら“I...”, しないことなら“I don't...”と書き出してパートナーに伝えよう。パートナーはE-Guideを参考に、あいづちを打って反応しよう。

(例) A: I **play video games** every day.

B: Really? Me, too.

Taskの種類が
ひと目でわかる
アイコン表示

やりとり
書く



play video games



drink coffee



get up at+時刻

E-Guide あいづち

- Sure. 「もちろん、そうだよ」
□ I see. 「なるほど」
□ That's nice[good/great]. 「それはいいね」
□ Really? 「そうなの?、本当に?」
□ Me, too. 「私も」
□ That's too bad. 「それは残念だね、気の毒」

ひと目でわかる
学習文法事項

現在進行形(am/are/is-ing)

C 「(今)～している最中だ」と伝える

- ⑤ I'm **waiting** for the school bus.
⑥ My cat **is getting** fat these days.

私はスクールバスを待っている。
私の猫は最近太ってきている。

F-Guide

- ⑤ 「(今)～している最中だ」という、行われている最中の動作を表すときは、現在進行形(am/are/is+動詞のing形)を使う。Aのような状態を表す場合は進行形にしない。
⑥ 変化している最中のことを表すときも、現在進行形を使う。



Task 3

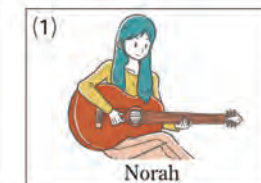
ペアになって、イラストの人物が何をしているのか話してみよう。

(例) A: What is **Tim** doing?

B: He **is drinking** water.



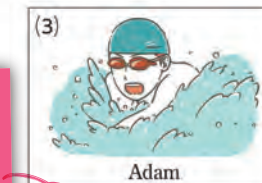
Tim



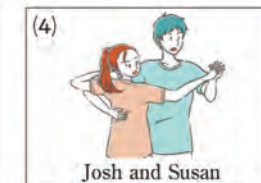
Norah



Cindy



Adam



Josh and Susan



Peter and Emily

文法項目と機能表現の
達成目標と自己評価
チェックリスト

water	名 水
draw a picture	絵を描く
swim in the pool	プールで泳ぐ
basketball	名 バスケットボール

SELF-CHECK 到達度を自己評価してみよう

- A 自分や身近な人・ものの現在の状態を伝えることができる。(現在形 | 状態動詞)
□ B 自分や身近な人がいつもすることを伝えることができる。(現在形 | 動作動詞)
□ C 今している最中のことを伝えることができる。(現在進行形)
□ Expressions 相手の話の内容に合わせて適切なあいづちを打つことができる。

Active Learning 自己紹介

Write 自己紹介の文を書く

モデル英文を参考に、自分のことや自分の意見を文章にします。

次の文章を参考に、5文以上で自己紹介を書いてみよう。

Hello, everyone. My name is Yamada Sakura. I went to Nakahata Junior High School. I like K-pops. My favorite singer is JJ. I want to visit Korea some day. Nice to meet you.

Hints for Logical Writing

自己紹介では名前やニックネーム、出身校などの自分についての〈大まかな情報〉、次に興味のあることや将来の計画など自分をよく知ってもらうための〈より個人的な情報〉という順で書くと、伝わりやすくなります。

論理的な文章を書くためのヒント

Share 自己紹介をする

グループになって、次の手順を参考に、1人ずつ自己紹介をしよう。

ステップを踏んで、ペア・グループワークで会話をします。

1 あいさつ

1 Hi, everyone.

2 大まかな情報

2 名前や(あれば)ニックネーム

My name is Sato Hinata. Please call me Hina.

出身校、住んでいる場所など

I went to Sakura Junior High School.

I live in Nanairo City.

3 より個人的な情報

3 好きなもの・ことなど

I like tennis very much.

4 あいさつ

4 Nice to meet you.

Plus

2 住んでいる場所についてひと言プラス。(I live in Kagawa. It's famous for udon.)

3 好きなもの・ことについてひと言プラス。(I want to join the school tennis club.)

+ 家族やペット、趣味についてひと言。(I have a white cat, and her name is Momo.)

SELF-CHECK

到達度を自己評価してみよう ③...◎, ②...○, ①...△

- 自分のことを説明する英文を書くことができた。
- 示された展開にそって自己紹介をすることができた。
- グループのメンバーとアイコンタクトをとりながら話すことができた。

③ ② ①
③ ② ①
③ ② ①

LESSON 15

What's SDGs?

場所や時についての説明を追加する

Start-Up

Mr. Lee がプロジェクト学習のための参考文献として SDGs に関する本を買ってきました。



*SDGs (= Sustainable Development Goals) ... 持続可能な開発目標

Tips : いくつかのものを並べて説明したいときは、“No hunger, (間) zero poverty, (間) clean water” のようにまとまった語句をつなげつつ、間をとるようにしましょう。

Forms

場所や時について説明を追加するときは関係副詞を使う

Expressions

「なんて～だろう!」と驚き、喜び、悲しみなどの気持ちを表す

🔊 会話中に出てくる「なんて～だろう!」の表現を探してみよう!

Sounds

/m/ の発音

- /m/ ... 日本語で「ム」と言うときよりも唇を強く閉じてから、鼻から呼吸を出すようにして発音する。important や number のような /p/ /b/ の前の /m/ は、唇を閉じて「ン」と発音するようにすればよい。

many, problem, important, milestone

Talk

🔊 Zoey と Mr. Lee になりきって会話をしてみよう!

Mr. Lee



地球環境は自分が学んだところから大きく変わっている。プロジェクト学習の機会に自分も学ばないと。

A 「…が～する／～である場所」と伝える

関係副詞 〈where〉

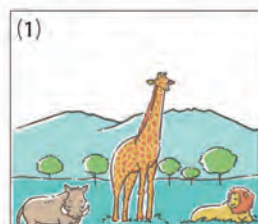
- ① There are a lot of countries **where** clean water is scarce. きれいな水が十分でない国がたくさんある。
 ② This is **where** I've been volunteering for the past week. ここは私がこの1週間ボランティアをしている場所だ。

F-Guide

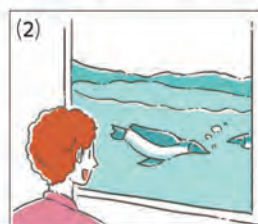
- ① 「…が～する／～である場所」のように、どういう場所なのかがわかるように説明を加えたいときは、関係副詞 where を使って〈名詞+where+主語+動詞…〉とする。
 ② 関係副詞 where は、This is where ……のように名詞なしで使うこともできる。the place where ……の the place が省略されている。

Task 1 イラストを見て、「そこは…が～する(場所)です」という英文を書いてみよう。

(例) That's a **library** where **we can borrow books about the SDGs**.



(1) a national park, we can see many wild animals



(2) an aquarium, Lenard enjoyed watching penguins



(3) a hospital, people can get free medical care

トピックに関連した例文で、発信活動に活用できます。

B 「…が～する／～であるとき」と伝える

関係副詞 〈when〉

- ③ I remember the day **when** we planted trees here. 私たちがここに木を植えた日のことを私は覚えている。
 ④ That was **when** Japanese women got the right to vote. それが日本人女性が選挙権を獲得したときだった。

F-Guide

- ③ 「…が～する／～であるとき」のように、どういうときなのかがわかるように説明を加えたいときは、関係副詞 when を使って、〈when+主語+動詞…〉とする。
 ④ 関係副詞 when は、That is when ……のように名詞なしで使うこともできる。the time when ……の the time が省略されている。

Task 2 与えられた語句を参考に、「〈時〉は…が～した年/日だ」という英文を書いてみよう。

(例) **1863** is the year when **Lincoln made an important speech**.

- (1) 2009 / Barack Obama / win a Nobel Prize
 (2) 2013 / Malala Yousafzai / speak at the UN
 (3) 1945 / World War II / end

Task の英文もトピックに関連した、日常的なものからより社会的なものまで扱います。

Vocabulary

national	形 国定の、国の	free	形 無料の	make a speech	演説をする
wild	形 野生の	medical	形 医療の	prize	名 賞
hospital	名 病院	care	名 ケア、世話	World War II	第2次世界大戦

C 「…が～する／～である理由・方法」と伝える

関係副詞 〈why/how〉

- ⑤ Tell me the reason **why** you got interested in gender equality. ジェンダー平等に興味をもった理由を教えてください。
 ⑥ This is **how** we can reduce food loss. このようにして食品ロスを減らすことができます。

F-Guide

- ⑤ 「…が～する／～である理由」と言いたいときは、関係副詞 why を使って〈the reason why+主語+動詞…〉とする(the reason は、表す意味によって a reason / reasons などとなる)。Tell me the reason you got interested in ……や Tell me why you got interested in ……のようにすることもできる。
 ⑥ 関係副詞 why と how は、This is why/how ……のような形で使うことができる。
 ● This[That] is why ……「こういう [そういう] わけで…」
 ● This[That] is how ……「こういう [そういう] 方法で…」

Task 3 ペアになって、イラストを参考に身の回りのごみを減らす方法について話してみよう。パートナーは E-Guide を参考に、「なんて～でしょう!」と感想を言ってみよう。

(例) A: My father subscribes to an e-newsletter.

B: Really?

A: Yes. This is how he can reduce paper waste.

B: How smart!



e-newsletter



shopping bag



mechanical pencil

Task に多くのイラストを使用し、取り組みやすさに配慮しています。

E-Guide 「なんて～でしょう!」の表現

- What (+形容詞)+名詞!
 □ What a challenge! 「なんてやりがいのある課題でしょう!」
 □ How challenging! 「なんてやりがいがあるんでしょう!」
 □ How smart! 「なんて頭がよいのでしょう!」
 □ How+形容詞/副詞!
 □ What a good idea! 「なんてよいアイデアでしょう!」
 □ How interesting! 「なんて興味深いんでしょう!」

会話で使われる機能表現

SELF-CHECK 到達度を自己評価してみよう

- **A** 「…が～する／～である場所」と伝えることができる。(関係副詞 where)
 □ **B** 「…が～する／～であるとき」と伝えることができる。(関係副詞 when)
 □ **C** 「…が～する／～である理由・方法」と伝えることができる。(関係副詞 why/how)
 □ **Expressions** 「なんて～でしょう!」の表現を使って、驚きを伝えることができる。

Active Learning 場所の説明

場所の説明表現を学習する活動として、関心の高い世界遺産を取り上げました。

Share 行ってみたい世界遺産について話す

ペアになって、世界遺産を1つ取り上げ、「それはどのような場所か」を話してみよう。

- A** 1 どこに行きたいか聞く。 **A** 1 Which World Heritage Site do you want to visit?
- B** 2 行きたい世界遺産と、それはどのような場所かを説明する。 **B** 2 I'd like to visit Yakushima. It's an island where we can see old cedar trees called Yakusugi.
- A** 3 「すごい！」などの感想を言う。 **A** 3 That would be great!

Words and Phrases

castle 「城」 / temple 「寺」 / shrine 「神社」 / mountain / island 「島」 / national park / lake 「湖」 / fall 「滝」

we can see[find]+もの / we can try+～すること / we can enjoy+もの／こと
interesting / great / wonderful / beautiful / fantastic / a nice place to visit

Write おすすめの場所を紹介する文を書く

次の文章を参考に、海外からやってきたばかりの留学生におすすめしたい場所の紹介を書いてみよう。

The place I recommend* is Jyoshinji. It's an old temple in our town where you can try zazen. By doing zazen, you will feel calm and relaxed. In front of the temple, there is a big ginkgo* tree, one of the natural treasures of Tokyo.

*recommend...～をすすめる, ginkgo...イチョウ

Hints for Logical Writing

まずあなたがすすめる場所を書いて、次にそこは何をすることができる場所かを具体的に書くと、読んだ人がイメージしやすくなります。

SELF-CHECK

到達度を自己評価してみよう ③...◎, ②...○, ①...△

- 示された展開にそって世界遺産について話すことができた。
- パートナーとアイコンタクトをとりながら話すことができた。
- 留学生におすすめの場所を紹介する英文を書くことができた。

Active Learning 資料 世界遺産

トピックに関連した情報で、生徒の知的好奇心を喚起。Active Learningに活用できます。

世界遺産

英語では、場所を紹介するときに「タージ・マハルは多くの美しい彫刻を見ることができるインドの霊廟だ」のように「〈名前〉は〈特徴〉をする[ができる]〈場所〉だ」という言い方ができます。下記の例を参考に、さまざまな世界遺産を紹介してみましょう。



Taj Mahal

世界文化遺産・インド

大理石(marble)で作られた霊廟(mausoleum)。日中は池に映る逆さタージ・マハルが美しい。



Castel del Monte

世界自然遺産・イタリア

八角形(octagon)の城。夏至の日に中庭から真上に北極星(the polestar)を眺めることができる。



Shirakami-Sanchi

世界自然遺産・日本

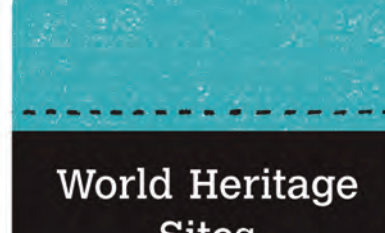
ブナ(Japanese beech)など多様な固有動植物が見られる。狩猟(hunt)や漁業(fish)は禁止されている。



Guanajuato

世界文化遺産・メキシコ

メキシコ中央高原(Mexican Plateau)の標高約2,000mの谷あいにある、色彩豊かな中世都市。



World Heritage Sites



Lagoons of New Caledonia

世界自然遺産・ニューカレドニア

約15,000種の海洋種が生息していると推定されており、ジュゴンやウミガメも見られる。



Lake Baikal

世界自然遺産・ロシア

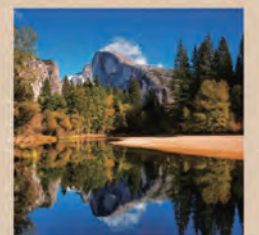
世界一透明度が高く、“the Pearl of Siberia”「シベリアの真珠」と呼ばれる古代湖。固有種が豊富。



Works of Antoni Gaudí

世界文化遺産・スペイン

建築家ガウディによる7つの作品群。サグラダ・ファミリアは、2026年に完成する予定。



Yosemite National Park

世界自然遺産・アメリカ

美しい滝、岩、動植物が見られる。花嫁のベールのように見える“Bridalveil Falls”などがある。

英語を使う場面ごとによく使われる会話表現集。
英語ではどのような表現をするのが適切かを学びます。
会話・リスニング試験対策にも効果的。

英語でコミュニケーションするうえで
知っておきたい情報を紹介。異文化間のやり取り
という観点からわかりやすく解説しています。

Keep Talking

Scene 1 移動する

Model Dialogue

A: I'd like a ticket to Oxford, please.
B: Single or return?
A: Return, please.
B: Do you want a reserved seat?
A: No, thanks. What time does the next train leave?
B: The next train leaves at 11:45 from platform 5.

A: オックスフォードへの切符をお願いします。
B: 片道ですか。往復ですか。
A: 往復切符をお願いします。
B: 指定席になさいですか。
A: いいえ。次の列車は何時に出ますか。
B: 次の列車は11時45分発で、5番ホームからです。

Role-play

Task

(例) 現在地: L 駅, 目的地: O 駅
A: I'd like to go to O Station from L Station. How do you get there?
B: First, take Q Line to K Station. Then, transfer to R Line. O Station is the third station after K Station.

TRAIN MAP

P Line

Q Line

R Line

Expressions

Scene 2 道をたずねる

Model Dialogue

Expressions

Scene 3 道をたずねる

Model Dialogue

Expressions

- Scene 1 移動する
- Scene 2 道をたずねる
- Scene 3 買い物をする
- Scene 4 トラブルに対処する

COMMUNICATION TIPS 1

ノンバーバル・コミュニケーション

私

次

また

文化によって対人距離の取り方やジェスチャーの伝える意味に違いがある

また、人に向かっている場合は、相手への配慮を十分に考慮した適切な表現を心がけることになります。

“Would you mind lending me your bicycle?”
“Could you lend me your bicycle?”
“Can you lend me your bicycle?”
“Lend me your bicycle, please.”

ていねいになればなるほど、表現が長くなるという特徴があります。

① ノンバーバル・コミュニケーション

② 相手に応じたことばづかい

③ 言外の意味

たことばづかい

場面

ていねいさの度合い

大

小

20

21

英語での発信活動を効果的に
行うための方法を紹介。用例を見ながら、
論理的な伝達手法の基本が学べます。

Paragraph パラグラフを書いてみよう！

パラグラフとは？

英語のパラグラフは、1つの主題(topic)について述べた文のまとまりです。パラグラフは、この主題について述べる文(Topic Sentence)と、それを裏付けたりくわしく説明したりする文(Supporting Sentence)で構成されています。1つのパラグラフに主題は1つだけなので注意しましょう。

Example テーマ: Club Activities

① I play the trombone in the school band. ② Playing in the band is a lot of fun, but the practices are a lot of work. ③ In fact, we practice every day but Sunday! ④ Sometimes I get too tired to study. ⑤ How can I practice effectively* and save time and energy to study? ⑥ It's not an easy question, but I want to find a way.

パラグラフの書き始めは、「インデント」という字下げをします。インデントの幅は書き方のスタイルによっていくつかのパターンがありますが、3文字分くらいを目安にしましょう。
長さは5文以上、60語以上を目指しましょう。

*effectively 「効果的に」

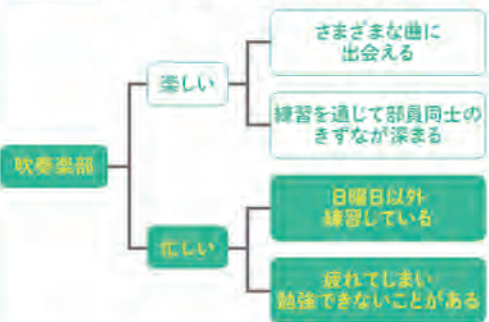
パラグラフの構造 主題と支持の構造を意識しよう！

Topic Sentence	① I play the trombone in the school band. ② Playing in the band is a lot of fun, but the practices are a lot of work. Point 1 パラグラフの主題を述べる 英語のパラグラフを書くときは、最初に Topic Sentence を示すのが基本です。例文は部活動がテーマなので、①の文で自分が所属している部を説明したあと、②で「吹奏楽部の練習が忙しい」という主題を述べています。
Supporting Sentences	③ In fact, we practice every day but Sunday! ④ Sometimes I get too tired to study. Point 2 理由や具体例を述べて、自分の考えをサポートする 自分の考えや主張に説得力をもたせるために、複数の文で理由や具体例を示します(参考「スピーチをしてみよう」p.38)。③④の文は②で述べた忙しさを具体的に説明しています。
Concluding Sentence	⑤ How can I practice effectively and save time and energy to study? ⑥ It's not an easy question, but I want to find a way. Point 3 主題についての結論を述べる ⑥の文では、②の主題に対する自分なりの結論を述べています。このように、パラグラフの最後に Concluding Sentence(結論)を入れることもありますが、Topic Sentence と同じになってしまったり、次のパラグラフとのつながりが悪くなったりする場合は、無理に入れる必要はありません。

Paragraph

パラグラフライティングの実践 部活動やふだん休日について
パラグラフを書いてみよう！

Task 1 Topic Sentence, Supporting Sentences, 必要なら Concluding Sentence となる部分のメモを作ろう。



- 【Step 1】
- 自分が所属する部や休日について、特徴的なことや印象的なことを、関係のあるものを線でつなぎながら、思いっただけ書き出していく。
- 【Step 2】
- パラグラフの主題は1つなので、マップから、自分がどのような側面について書きたいかを選ぶ。
 - Topic Sentence → Supporting Sentences の順に伝えたいことをメモにする

Topic Sentence 吹奏楽部は忙しい。
Supporting Sentences 1: 日曜日以外毎日練習している。
2: 疲れてしまい勉強できないことがある。
Concluding Sentence 効率的に練習して勉強のための時間と体力を残す方法を見つけたい。

Task 2 Task 1で作ったメモをもとにパラグラフを書いてみよう。
+Plus+ 5文以上、60語以上を目指して Supporting Sentences を増やすなど工夫しよう。

E-Guide つなぎ表現
逆説 but / however / though
対比 ~, while ... 「～である一方、…」 / on the other hand 「一方」
追加 in addition 「さらに、そのうえ」 / moreover 「さらに、そのうえ」

Task 3 ペアになって、書いたパラグラフを交換して、一言感想を伝えよう。

E-Guide 感想・相手の意見に対する反応
感想 That's interesting. / That's amazing. / That's great.
同意 I think so, too. 「私もそう思う」 / I agree. 「賛成です」
反対 I don't think so. 「私はそう思わない」 / I disagree. 「反対です」

機能表現例

達成目標と自己評価

SELF-CHECK

- 部活動や休日の過ごし方について書くことができた。
- 主題を支持する理由や具体例を挙げることができた。
- 5文以上、60語以上書くことができた。

TRY!

下記のテーマから1つ選んでパラグラフを書いてみよう。

School Life / School Event / My Favorite Thing to Do

【Step 1】

3つのテーマについて、それに関連した特徴的なことや印象的なことがどれだけあるか、書き出してみよう。自分にとって書きたいことがあるテーマや、書くことがたくさんありそうなテーマを選ぶとよい。

School Life

- classmates and teachers
- best friends
- favorite place at school

School Event

- the athletic meet
- the chorus contest
- the school festival

My Favorite Thing to Do

- play smartphone games
- read comic books
- watch videos on social media

スモールステップで無理なく実践

【Step 2】

p.75のメモを参考に、テーマを1つ選んで、特徴的なことや印象的なことを、関係のあるものを線でつなぎながら書き出して、整理しよう。書きたいことがたくさんありすぎる場合は、最も主張したいことを選び、その内容を掘り下げる情報を加えられるとよい。

【Step 3】

アイデアを整理できたら、メモから英文をつくる準備として、Topic Sentence, Supporting Sentences, Concluding Sentence で何を伝えるか考えよう。

Topic Sentence パラグラフの主題を述べる文（1文）

Supporting Sentences 理由や具体例を述べて、Topic Sentenceの内容をサポートする文（2～5文程度）

Concluding Sentence 主題についての結論を述べる文（なくてもよい）

【Step 4】

セルフチェック&相互レビューをしてみよう。まずは自分で、下記のリストができていればチェックをつけよう。次にペアになって、パートナーのパラグラフが同じようにできているかチェックしよう。“Interesting!”, “Excellent!” などのように一言感想を書いて返すとよい。

パートナーを評価

SELF-CHECK

- ☐ Topic Sentenceの内容がわかりやすく書けた。
- ☐ Supporting Sentencesは論理的に配列できた。
- ☐ 全部で5文以上、60語以上書けた。

Your Partner's Review

- ☐ Topic Sentenceの内容がわかりやすく書けている。
- ☐ Supporting Sentencesは論理的に配列できている。
- ☐ 全部で5文以上、60語以上書けている。

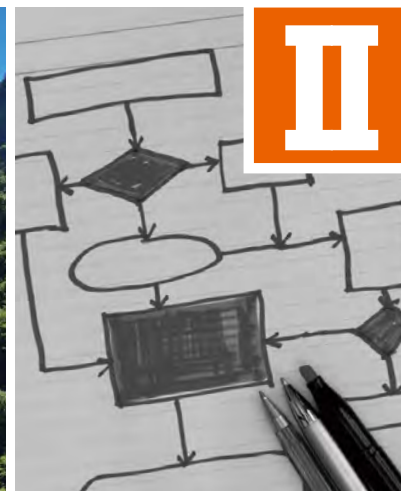
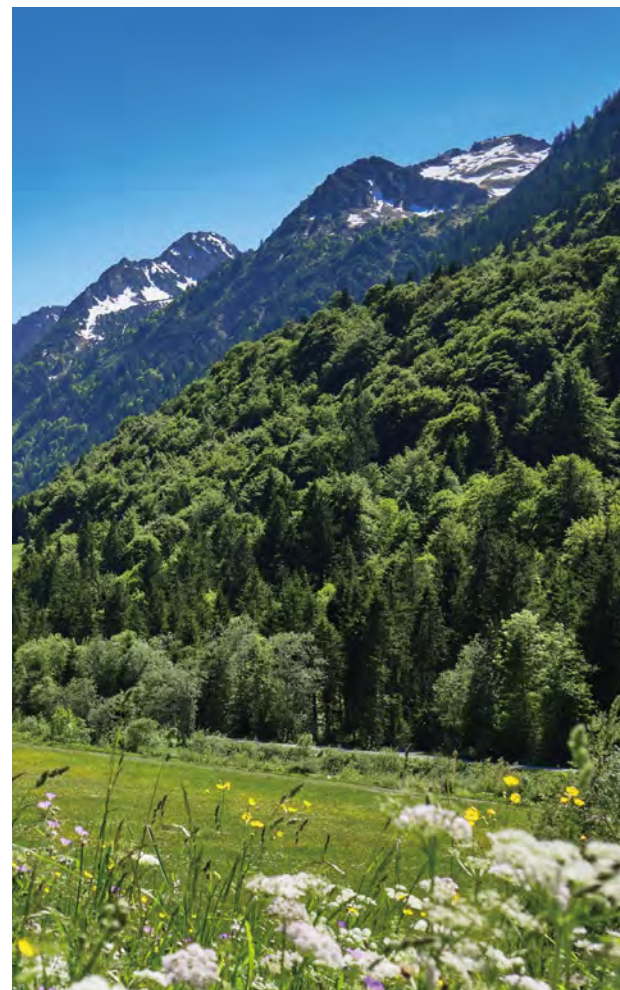
Harmony II

内容の紹介

Harmony

English Logic and Expression

文部科学省検定済教科書 高等学校外国語科用 231 いいずな 論II 715



IIIZUNA SHOTEN

CONTENTS

Point
時制・助動詞・態を意識して日常生活について話す

Point
準動詞を意識して

Introduction

1 出来事を伝える	p.6
2 説明する	p.7
3 話の流れを読み取る	p.8
4 理由を述べる	p.9
5 具体例を示す	p.11
6 分析する	p.12

1st Zone Talking about Your Daily Life

LESSON 1 During Spring Vacation 最近の出来事について説明する pp.15-18

Start-Up Conversation

Forms and Expressions 出来事や場所をわかりやすく説明するために時制を使い分ける

Speaking

Tips for Logical Thinking Narrative (1)

Interactions A Day Out

- A 現在のことや事実を表す **現在形**
B 過去のことを表す **過去形・used to**
C 未来のことを表す **未来のことを表す表現**

Vocabulary

Active Learning

最近行った場所・行ってみたい場所
Write 最近行った場所について説明する
Share 行ってみたい場所について話す

LESSON 2 My Favorite Star 有名人の経歴について説明する pp.19-22

Start-Up Conversation

Forms and Expressions 人物の経歴を説明するために完了形を使う

Speaking

Tips for Logical Thinking Description (1)

Interactions Famous Figures

- A 現在までに完了していることや、経験を表す **現在完了形 (完了・結果・経験)**
B 過去から現在まで継続している動作や状態を表す **現在完了形 (継続)**
C 過去のある時点までのことを表す **過去完了形 (完了・結果・経験・継続)**

Vocabulary

Active Learning

人物の業績紹介
Write 尊敬する有名人や身近な人物の業績を紹介する
Share もっと知ってほしい人物を紹介する

LESSON 3 My Career Path できること・すべきことについて話す pp.23-26

Start-Up Conversation

Forms and Expressions できること・すべきことを表すために助動詞を使う

Speaking

Tips for Logical Thinking Example (1)

Interactions Various Jobs

- A できること・推量を表す **can/may (可能・可能性・推量)**
B すべきこと・推量を表す **must/should (義務・望ましい行動・推量)**
C 過去のことへの後悔や推量を表す **(助動詞 + have + 過去分詞)**

Vocabulary

Active Learning

将来のために今できること
Write 将来したいことについて書く
Share 将来の計画について話す

LESSON 4 Talking about Japanese Culture 日本の文化・ものについて話す pp.27-30

Start-Up Conversation

Forms and Expressions ものが何かされることを説明するために受動態を使う

Speaking

Tips for Logical Thinking Description (2)

Interactions Japanese Culture and Tradition

- A 受け身の意味を表す **受動態 (be + 過去分詞)**
B 「～されることができ／～されてきた」と伝える **助動詞を含む受動態、受動態の完了形**
C 「…に／で～される」と伝える **(be + 過去分詞 + by 以外の前置詞)**

Vocabulary

Active Learning

世界に発信したい日本のもの
Write 日本の歴史的・伝統的な建造物を紹介する
Share 日本のものを紹介する

1st Zone Review	p.31
スピーチをしてみよう！	p.32

2nd Zone Interaction with Society

LESSON 5 Disaster Prevention 防災について考える pp.35-38

Start-Up Conversation

Forms and Expressions することを説明するために不定詞を使う

Speaking

Tips for Logical Thinking Process

Interactions Disasters and Disaster Prevention

- A 「～すること」を表す **不定詞 (名詞用法)**
B 「～するための…」という説明を加える **不定詞 (形容詞用法)**
C 目的・感情の原因を表す **不定詞 (副詞用法)**

Vocabulary

Active Learning

英語でつくる防災ガイド
Share 災害時の行動について話す
Write 地震災害対応マニュアルをつくる

LESSON 6 Town Planning 都市構造について議論する pp.39-42

Start-Up Conversation

Forms and Expressions 「～するには…だ」と伝えるために不定詞を使う

Speaking

Tips for Logical Thinking Reason

Interactions Town Planning and Community

- A 「～するのは／～するのに…だ」と伝える **(形容詞 + 不定詞)**
B 「～のようだ／～だったようだ」と伝える **(seem + 不定詞)**
C 「～するには…／～するほど…」と伝える **程度を表す不定詞**

Vocabulary

Active Learning

住みよい街へ
Share 理想の街について話す
Write 市長に請願の手紙を書く

LESSON 7 Foods and People 食について考える pp.43-46

Start-Up Conversation

Forms and Expressions 「～すること」と伝えるために動名詞を使う

Speaking

Tips for Logical Thinking Cause and Effect

Interactions Food and Culture

- A 「～すること」「～する…」を表す **動名詞**
B 「～したこと／～されること」と伝える **動名詞の完了形・受動態**
C していること・これからすることを区別して表す **不定詞と動名詞**

Vocabulary

Active Learning

食と生活
Share vegan について理解を深める
Write 食べるものの選び方について書く

LESSON 8 ICT and Universal Design ICT とバリアフリー社会について考える pp.47-50

Start-Up Conversation

Forms and Expressions 「～している…」と伝えるために分詞を使う

Speaking

Tips for Logical Thinking Example (2)

Interactions ICT for an Inclusive Society

- A 「～している…」 「～された…」と伝える **分詞 (限定用法・分詞形容詞)**
B 「…を～(の状態)で」と伝える **(SVO + 分詞)**
C 述語動詞・文全体に説明を加える **付帯状況・分詞構文**

Vocabulary

Active Learning

ICT が実現するバリアフリー社会
Share 社会に存在するバリアについて話す
Write スマートフォンの新しい機能やアプリについて考える

2nd Zone Review	p.51
ディスカッションをしてみよう！	p.52

3rd Zone Globalization and Identity

LESSON 9 Toward World Peace 世界平和に貢献した人々について知る pp.55-58

Start-Up Conversation

Forms and Expressions 何をした人物かを説明するために関係詞を使う

Speaking

Tips for Logical Thinking Narrative (2)

Interactions World Peace

- A どのような人・ものを文で説明する **関係代名詞 (主格・目的格)**
B 「～するもの／こと」と伝える **関係代名詞 (what)**
C 補足的な情報を追加する **関係代名詞 (非限定用法)**

Vocabulary

Active Learning

世界平和に貢献した人々
Write 世界平和に貢献した人物を紹介する
Share 世界平和に貢献した人物について発表する

Active Learning 資料 世界平和に貢献した人々	p.59
Pre-LESSON 国際協力とボランティア	p.60

LESSON 10 Volunteering Abroad 世界の国々について知る pp.61-64

Start-Up Conversation

Forms and Expressions 場所や時について説明を追加するときに関係副詞を使う

Speaking

Tips for Logical Thinking Problem Solving

Interactions International Cooperation

- A 「…が～する場所／とき」と伝える **関係副詞 (where/when)**
B 「…が～する理由／方法」と伝える **関係副詞 (why/how)**
C 補足的な情報を追加する **関係副詞 (非限定用法)**

Vocabulary

Active Learning

国際協力とボランティア
Share 海外でのボランティア活動について話す
Write ボランティア活動の意義について書く

Active Learning 資料 国際ボランティア	p.65
Pre-LESSON SDGs 3: すべての人に健康と福祉を	p.66

LESSON 11 Health and Lifespan 健康と生活について考える pp.67-70

Start-Up Conversation

Forms and Expressions 2つ／2種類以上のものを比較して述べる

Speaking

Tips for Logical Thinking Comparison

Interactions Healthy Lifestyle and Life Expectancy

- A ほかのものと程度を比較する **比較 (原級・比較級・最上級)**
B 差の程度や倍数を表す **差・倍数の表現**
C 「できるだけ／～すればするほど…」と伝える **比較を使う表現**

Vocabulary

Active Learning

健康と医療
Share 諸外国と比較しながら、日本の健康と医療について考える
Write 日本の健康と医療

自分と社会の交わりについて話す

Point
関係詞・比較・法を意識してグローバル化と自分のアイデンティティについて話す

CONTENTS

■ Active Learning 資料 世界の健康・医療.....	p.71
■ Pre-LESSON 世界がもし100人の村だったら.....	p.72

LESSON 12 If the World Were ... **さまざまな立場に立って考える** pp.73-76

Start-Up Conversation

Forms and Expressions 現実とは違うことを表すときに仮定法を使う

Speaking

Tips for Logical Thinking Viewpoint

Interactions World Vision

- A** 現在／過去の事実と異なる想像の話をする
仮定法過去・仮定法過去完了
- B** 「もし〜だったら、(今) …なのになあ」と伝える
過去のこと+現在のこと
- C** 「もし〜がなければ／なかったら」と伝える
仮定を表す表現

Vocabulary

■ Active Learning 資料 偉大な発明.....	p.77
■ 3rd Zone Review.....	p.78
■ ミニディベートをしてみよう！.....	p.80

Active Learning

Share さまざまな視点から見た今日の世界
偉大な発明について話す

Write 現在と異なる状況を想像する

4th Zone Perception and Communication

LESSON 13 Culture and Perception **文化と認知の関係について知る** pp.83-86

Start-Up Conversation

Forms and Expressions 否定したい程度に応じた適切な否定の表現を使う

Speaking

Tips for Logical Thinking Emphasis

Interactions Cross-Cultural Differences

- A** 程度や頻度が「ほとんどない」と伝える hardly/rarely
- B** 「全部〜というわけではない」「まったく〜ない」と伝える
部分否定・全否定
- C** 相手に同意を求める・文の中に疑問文を埋め込む
付加疑問・間接疑問

Vocabulary

■ Active Learning 資料 絵画に見る空の色.....	p.87
■ Pre-LESSON ニュースの見方・読み方.....	p.88

LESSON 14 World Report **ニュースなどの内容を伝える** pp.89-92

Start-Up Conversation

Forms and Expressions だれかの話を伝えるときは適切な話法を使う

Speaking

Tips for Logical Thinking Reporting and Analysis

Interactions World News

- A** 2つの出来事の時間関係を示す 時制の一致
- B** 人の発言を伝える 直接話法・間接話法
- C** 疑問文・命令文を間接的に伝える
(ask + 人 + if/whether ... / ask + 人 + to do)

Vocabulary

■ Active Learning 資料 世界のニュース.....	p.93
■ Pre-LESSON アイデンティティと生き方.....	p.94

LESSON 15 Be Yourself **自分らしい生き方について考える** pp.95-98

Start-Up Conversation

Forms and Expressions 主張・要求・提案をするときは (that + 主語 + (should) + 動詞の原形) を使う

Speaking

Tips for Logical Thinking Suggestion

Interactions Just the Way You Are

- A** 要求・要求を表す
(insist/demand(that) + 主語 + (should) + 動詞の原形)
- B** 「(無生物が)人に〜させる」と伝える
無生物主語の構文
- C** 文の一部を強調する
強調構文

Vocabulary

■ 4th Zone Review.....	p.99
■ パラグラフを書いてみよう！.....	p.100
■ Sing-Along: Big Yellow Taxi.....	p.106
■ Start-Up Conversation 日本語訳.....	p.108
■ Punctuation in English 句読法.....	p.110
■ Lexical Index.....	p.112

Active Learning

Share 自分らしい生き方
充実した生活について考える

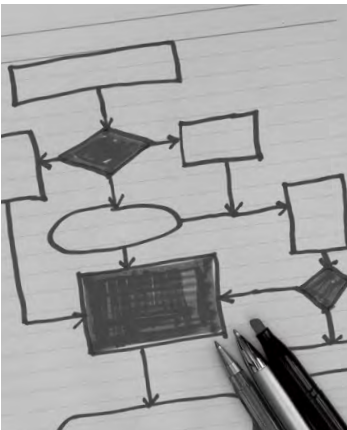
Write 自分らしい生き方について投稿する

Point
否定・疑問・話法などを意識して認識について話す

Harmony

English Logic and Expression

II



IIZUNA SHOTEN



QRコードについて

本教科書では紙面上のQRコードを読みとることで例文などの音声聞くことができます。音声再生する際にはデータ通信を行うため、通信事業者に対する通信料が発生します。長時間視聴の場合は、Wi-Fi環境でのご利用を推奨します。

1st Zone

Talking about Your Daily Life

日々の生活や、ちょっとした体験について自分の視点、自分の言葉で伝えてみよう。情報を整理し、伝えたい内容にしたがい適切な展開方法を選んで、聞き手、読み手にとってわかりやすい文章をつくることを意識しよう。文の形については、主語と動詞の使い方に注意しよう。

LESSON 1 最近の出来事について説明する

LESSON 2 有名人の経歴について説明する

LESSON 3 できること・すべきことについて話す

LESSON 4 日本の文化・ものについて話す

LESSON 1

During Spring Vacation

最近の出来事について説明する

Start-Up

Kanata は春休み中に、祖父母に会いに行ったようです。

Voice



Did you do anything special during spring vacation?

Iよりも会話文が
10語以上増加

Hanami! I love cherry blossoms. What's the most popular hanami spot in Okayama?

Yes. I went to see my grandparents in Okayama. My grandmother made us a gorgeous bento, and we had a hanami party. It was a lot of fun.

It's Kakuzan Park. If you have the chance, you should go there sometime.

Forms and Expressions 出来事や場所をわかりやすく説明するために時制を使い分ける

Speaking

● Zoey と Kanata になりきって会話をしてみよう！

Tips for Logical Thinking Narrative (1)

● ある人物による出来事の描写を narrative と言います。narrative は、単調な事実の説明にならないよう、説明はシンプルにして、発話者が伝えたいことや感じたことをしっかり伝えることが重要です。

Kanata



国際交流部のみんなにもお土産を買ってきたよ！

Interactions

A 現在のことや事実を表す

現在形

- ① Cherry blossoms **are** at their best now.
- ② You only **live** once. Have fun!

桜は今は盛りだ。
人生は一度きり。楽しみなさい！

F-Guide

- ① 現在の状態や、ふだんよくすることは現在形を使って表す。
 - I like cats very much. 「私は猫が大好きだ」
 - My mother **drives** to work every day. 「母は毎日、車で仕事に行く」
行われている最中の動作を表すときは、現在進行形を使う。
 - I'm waiting for the school bus. 「私はスクールバスを待っている」
- ② 「人生は一度きり」のように、**変わることのない事実**は現在形を使って表す。
 - The earth **goes** around the sun. 「地球は太陽の周りを回っている」

複数の文をつくる活動が
Iよりも増加

Task 1 与えられた語句を参考に、最近行った場所やよく行く場所について書いてみよう。「どのような場所か」、「そこで何をするか／したか」、「どう思うか／思ったか」を含めて3文以上書こう。

(例) Minami Library is one of my favorite places in this town.

I often go there to do my homework.

I think my brain works better in a quiet place.

My favorite place is / 〈建物〉+is located in+〈場所〉.

I think / It's interesting[a lot of fun] to *do* ... there. / I enjoy -ing there.

B 過去のことを表す

過去形・used to

- ③ Last week, I **visited** Hokkaido for the first time in my life.
- ④ This park **used to be** an airfield.

先週、生まれて初めて北海道を訪れた。
この公園はかつて飛行場だった。

F-Guide

- ③ 過去の状態や動作は過去形を使って表す。
 - My father **looked** tired yesterday. 「父は昨日、疲れているようだった」
過去のある時点でしていたことを表すときは、過去進行形を使う。
 - I **was walking** my dog around nine this morning. 「今朝9時ごろ、私は犬の散歩をしていた」
- ④ 現在とは異なる過去の状態や習慣的な行動は、〈used to + 動詞の原形〉を使って表す。
 - I **used to go** fishing with my father. 「昔は父とよく釣りに行ったものだ」
過去の習慣的な動作は would を使って表すこともできる。
 - My grandfather **would often take** me to the zoo. 「祖父はよく私を動物園に連れて行ってくれたものだ」

Vocabulary

<input type="checkbox"/> brain	名 脳	<input type="checkbox"/> fly	動 飛行機で行く	<input type="checkbox"/> ride	名 乗車
<input type="checkbox"/> work	動 働く、機能する	<input type="checkbox"/> an hour and a half	一時間半	<input type="checkbox"/> finally	副 ついに
<input type="checkbox"/> be located in ...	(場所)にある	<input type="checkbox"/> view	名 眺め、景色	<input type="checkbox"/> meet	動 (約束して)〜に会う

A Day Out

LESSON 1

Task 2 下記は、Ren が春休み中に、小樽に住む友人に会いに行ったときの写真と、その日の夜、SNS に上げたストーリーです。Ren になったつもりでストーリーの英文を完成させよう。



Today I came to Otaru to visit my friend. I first flew to Chitose. (1) _____ an hour and a half to fly from Haneda to Chitose. Then I took a train to Otaru. The view from the train (2) _____! After a 76-minute ride, I finally (3) _____.

C 未来のことを表す

未来のことを表す表現

- ⑤ We're **going to play** futsal next Saturday.
- ⑥ I hope it **will be** sunny that day.
- ⑦ *If it rains*, what shall we do?

次の土曜日、私たちはフットサルをするつもりだ。
その日は晴れるといいなあ。
雨が降ったら、どうしようか？

F-Guide

- ⑤ 現時点までに予定・計画されている未来のことは〈be going to + 動詞の原形〉を使って表す。
- ⑥ 現時点で「きっとそうなる [そうする]」と思うことは、〈will + 動詞の原形〉を使って表す。また、駅で困っている人を見かけたときに「お手伝いしますよ」とその場でとっさに判断することも、「I'll help you.」のように will を使って表す。
- ⑦ 現時点で確定していない未来のことを想定して、「もし〜なら」、「〜したら」のように言うときは、if や when などのあとで動詞の現在形を使って未来のことを表す副詞節をつくる。
 - We'll start the meeting *when* Yuki **comes** back.
「ユキが戻ってきたら、ミーティングを始めます」

⑦の副詞節をつくる語句：
when, after, before, until[till],
as soon as, if, unless, once,
in case

Task 3 ペアになって、与えられた語句を参考に、週末にピクニックに行くことを想定して、待ち合わせの約束をしよう。

(例) A: When shall we meet?

B: Let's meet at Hama Station at eleven o'clock.

A: Great. I'm going to bring beef sandwiches!

I'll arrive at+〈場所〉+〈時刻〉. / Why don't we meet at+〈場所〉+〈時刻〉?

That sounds good. / OK. / All right.

something sweet / something to drink / some fruit / snacks

SELF-CHECK 到達度を自己評価してみよう

- ☐ A 身近な場所について現在のことを伝えることができる。(現在形)
- ☐ B 身近な場所について過去のことを伝えることができる。(過去形・used to)
- ☐ C 外出を想定して未来のことを伝えることができる。(未来のことを表す表現)

<input type="checkbox"/> sandwich	名 サンドイッチ
<input type="checkbox"/> something+形	何か〜なもの
<input type="checkbox"/> snacks	名 おやつ、お菓子

Active Learning 最近行った場所・行ってみたい場所



Write 最近行った場所について説明する

次の文を参考に、最近行った場所について書いてみよう。

Last week I went to the Cherry Blossom Festival in Jindai Botanical Garden. I enjoyed walking through the garden and took lots of photos. The garden is famous for its cherry trees, and many of them are at their best now. In fact, millions of blossoms looked like pink clouds!

Hints for Logical Writing

まず「最近行った場所」というテーマに沿って、「いつ、どこに行った」と大まかに書き、そのあとで「何をしたか」を時系列順に書いていくとよいでしょう。さらに、「行った場所」や「したこと」について特に印象に残っていることや伝えたい情報などを追加することで読み応えのある narrative になります。



Share 行ってみたい場所について話す

ペアになって、与えられた語句を参考に、行ってみたい場所について話してみよう。

- A

1 行ってみたい場所があるか聞く。
- B

2 行ってみたい場所を答える。
- A

3 どのような場所か、そこで何をするのかなどを聞く。
- B

4 場所についての説明や、したいことを答える。
- A

5 「すごいね！」など感想を言う。
- A

1 Do you have anywhere special you want to go, if you have the chance?
- B

2 Yes. I want to travel to the moon.
- A

3 Really? What do you want to do on the moon?
- B

4 I want to try to play sports in low gravity.
- A

5 Wow! That would be fun!

Words and Phrases

3つの観点から
自己評価

- 2 I hope that I will go ... some time[some day]. / My dream is to visit
- 3 I've never heard of the place. / What kind of place is it? / What do you want to do there?
- 5 That's great! / I want to go there, too! / I hope your dream will come true.

SELF-CHECK

到達度を自己評価してみよう ③...◎, ②...○, ①...△

- 【Form】

場所についての説明は現在形、したことは過去形、いつかすることは未来の表現のように、伝える内容に合わせて時制を正しく使い分けることができた。

③ ② ①
- 【Expression】

narrative として、事実の説明だけでなく、自分の視点から感想や意見を伝えることができた。

③ ② ①
- 【Communication】

Share では、パートナーとアイコンタクトをとりながら、相手の聞きやすい声の大きさ、スピードで話すことができた。

③ ② ①

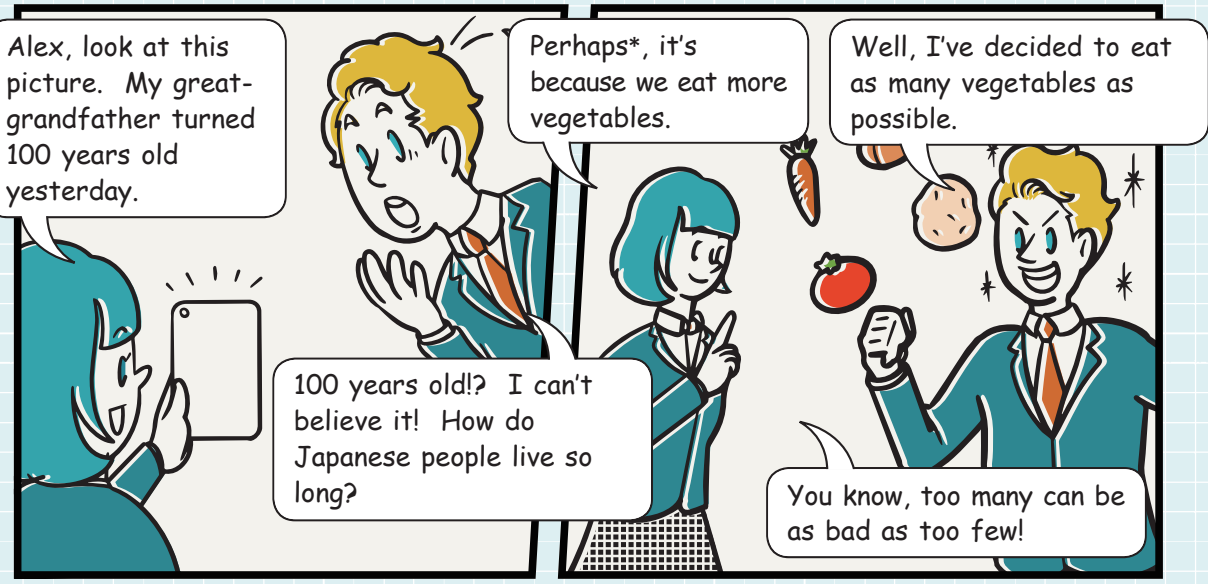
LESSON 11

Health and Lifespan

健康と生活について考える

Start-Up

Alex は Haruka のひいおじいさんの話を聞いて仰天しました。



*perhaps...ひよっとすると

Forms and Expressions 2つ／2種類以上のものを比較して述べる

Speaking

●Haruka と Alex になりきって会話をしてみよう！

Tips for Logical Thinking Comparison

●比較の文では、特定のもの2つ以上を比較するだけでなく、平均的な数値や一般的な感覚に照らし合わせて、「比較的～だ」と述べることもできます。何が比較対象なのかを意識しながら述べるのが大切です。

Alex



健康に長生きするためには、適度な運動、良質な睡眠も大切だね。

Interactions

Aほかのものと程度を比較する

比較(原級・比較級・最上級)

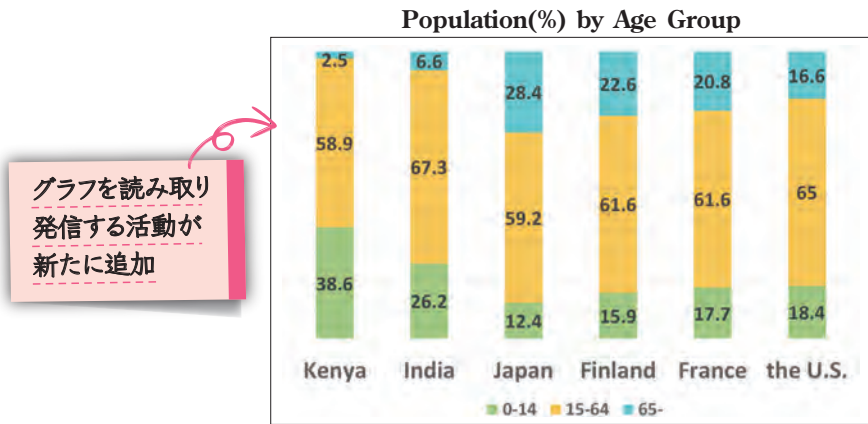
- ① Exercise is just **as important as** diet in order to stay healthy.
健康を維持するためには、運動は食事とまったく同じくらい重要だ。
- ② It is said that women live **longer than** men.
女性は男性よりも長く生きると言われている。
- ③ On average, people in Nagano eat **the most** vegetables in Japan.
平均で、長野県の人々は日本で一番多くの野菜を食べる。

F-Guide

- ① 何かと何かを比較して、その程度が同じくらいであると伝える場合は、〈as+形容詞／副詞の原級+as...〉で表す。
- ② 何かと何かを比較して、その程度が「…より～」と伝える場合は、〈形容詞／副詞の比較級+than...〉で表す。
- ③ 3つ以上のものを比較して、その程度が「最も／一番～」と伝える場合は、〈the+最上級...〉で表す。比較の対象がJapanのような範囲なら〈in+範囲〉、人数などの集団なら〈of+集団〉で表す。

Task 1 年齢別人口構成比のグラフからいくつかの国と年齢層を取り上げて、比較してみよう。

(例) I'm going to compare Japan's population by age group with that of other countries. Look at the graph. Japan has the smallest percentage of people aged under 15, while the percentage of elderly people is the largest of the six countries.



出典：国際連合人口部 2020, Total Population by Five-Year Age Group, Region, Subregion and Country.

B 差の程度や倍数を表す

差・倍数の表現

- ④ My grandmother lived **8 years longer than** my grandfather.
祖母は祖父より8年長生きした。
- ⑤ Germany has **twice as many doctors as** Japan, per 1,000 people.
ドイツは1000人あたり日本の倍の医師がいる。
- ⑥ The number of dentists in the US is **by far the largest** in the world.
アメリカの歯科医師の数は世界でずば抜けて一番多い。

Vocabulary

<input type="checkbox"/> compare A with B	AをBと比較する	<input type="checkbox"/> percentage	<input type="checkbox"/> 割合	<input type="checkbox"/> average	<input type="checkbox"/> 平均の
<input type="checkbox"/> age group	年齢層	<input type="checkbox"/> aged歳の	<input type="checkbox"/> approximately	<input type="checkbox"/> およそ
<input type="checkbox"/> graph	<input type="checkbox"/> グラフ	<input type="checkbox"/> under	<input type="checkbox"/> 前 ～未満の	<input type="checkbox"/> less	<input type="checkbox"/> より少なく

Healthy Lifestyle and Life Expectancy

F-Guide

- ④ 比べる相手との差を表す場合は、〈差+比較級+than...〉で表す。
- ⑤ 比べる相手との差を倍数で示す場合は、〈倍数+as+原級+as...〉で表す。halfなどの分数で差を示す場合も〈分数+as+原級+as...〉とする。
- ⑥ 3つ以上のものを比較して、その程度が飛び抜けて一番であることを示す場合は、〈by far the+最上級〉で表す。

比較級の強調「もっとずっと～」：〈much/far+比較級〉
最上級の強調「飛び抜けて一番～」：〈by far the+最上級〉

Task 2 ペアになって、下のグラフを参考に、各国の平均睡眠時間について話してみよう。

(例) A: Look at the graph. It shows the average sleeping time of eight countries.
What can you tell from the graph?

B: Koreans sleep approximately thirty minutes longer than Japanese people.

A: That's right. And the people in these two countries sleep less than the people in the other countries.



出典：OECD 1998-2016, Time Use across the World.

C「できるだけ～」「～すればするほど…」と伝える

比較を使う表現

- ⑦ It's important to keep your teeth **as healthy as possible**.
できるだけ歯を健康に保つことは大切だ。
- ⑧ **The less** you sleep, **the more tired** you get.
寝る時間が少なくなれば少なくなるほど、ますます疲れる。

F-Guide

- ⑦ 「できるだけ～／できるかぎり～」と伝える場合は、〈as+原級+as possible〉で表す。同様の意味を〈as+原級+as+(人)+can〉でも表すことができる(as healthy as you can)。
- ⑧ 「～すればするほど(ますます)…」と伝える場合は、〈The+比較級+主語+動詞～, the+比較級+主語+動詞...〉で表す。

Task 3 与えられた語句を参考に、健康維持の観点から、「できるだけ～」「～すればするほど…」と書いてみよう。

(例) I think the more stressed I feel, the more tired I become. Therefore, I try to sleep as much as possible on such days.

get up [go to bed / have meals] at the same time every day / get a good sleep / do some exercise / keep a pet[dog/cat/hamster/rabbit] / listen to music / enjoy life / take a bath / eat vegetables[fruits/fish] / drink milk[coffee/green tea] / avoid stress / laugh

SELF-CHECK 到達度を自己評価してみよう

<input type="checkbox"/> feel stressed	<input type="checkbox"/> ストレスを感じる
<input type="checkbox"/> therefore	<input type="checkbox"/> したがって
<input type="checkbox"/> laugh	<input type="checkbox"/> 笑う

- ☐ A ほかのものと程度を比較することができる。(比較 原級・比較級・最上級)
- ☐ B 差の程度や倍数を表すことができる。(差・倍数の表現)
- ☐ C 「できるだけ～」「～すればするほど…」と伝えることができる。(比較を使う表現)

Active Learning 健康と医療

Share 諸外国と比較しながら、日本の健康と医療について考える

ペアになって、各国の健康・医療に関するデータを比較してみよう。

- A 1 平均寿命などについて1つ質問する。

B 2 理由と思われることを答える。

A 3 理由について掘り下げる。

B 4 くわしく説明する。

A 5 感想を述べる。
- A 1 Why do Japanese live longer than others?

B 2 I think that's because Japan has one of the best health care systems in the world.

A 3 That may be true. But, there are about as many doctors and nurses in the U.S. as in Japan.

B 4 It shows that not only the number of doctors and nurses but also the number of hospital beds are important.

A 5 I agree.

- Words and Phrases
- 1 Why do people in ... live shorter lives than those in ...? / I wonder why ...

2 In my opinion, / That may be because

4 It suggests that / According to the data, / Comparing A with B,

- Plus
- 資料にない国や、下記のデータについても調べてみよう。
- The number of smokers 「喫煙者数」
 - Average working hours per capita 「1人あたりの平均労働時間」

Write 日本の健康と医療

次の文章を参考に、日本の健康と医療に関する問題点と、考えられる改善方法について書いてみよう。

I think one of the problems with the health care system in Japan is that the number of doctors per capita* is relatively* small. In fact, the number is smaller than many of the OECD countries. If there are more and more patients, there may not be enough doctors to treat everyone. Therefore, we should train more doctors at university.

* per capita... 1人あたりの, relatively... 比較的

Hints for Logical Writing

データを比較して述べる場合は、何と何を比べているのか、また、どのような集団の中で比べているのかを明確にする必要があります。ここでは、1人あたりの医師の数に関して「OECD加盟国の中で」と集団を明示し、「患者がさらに増えたら」の部分では暗に現在と未来を比較しています。

SELF-CHECK 到達度を自己評価してみよう ③...○, ②...○, ①...△

【Form】 健康・医療に関するデータを比較する場面では、適切な比較の表現を使うことができた。 ③ ② ①

【Expression】 データを比較する場面では、比較対象や範囲、集団を明確にすることができた。 ③ ② ①













【Communication】 Share では、パートナーとアイコンタクトをとりながら、相手の聞きやすい声の大きさ、スピードで話すことができた。 ③ ② ①

Active Learning 資料 世界の健康・医療

健康・医療に関するデータ

データを比較する際は、「～人あたり」のように、母集団の数を等しくしてその中に含まれるものの数を比較する必要があります。ここでは、各国の健康・医療に関するデータとして、4種類の数値を記載しました。

- B The number of hospital beds per 1,000 people 「人口1,000人あたりの病床数」
- D The number of doctors per 1,000 people 「人口1,000人あたりの医師の数」
- N The number of nurses per 1,000 people 「人口1,000人あたりの看護師の数」
- L Average life expectancy 「平均寿命」

 <p>Japan (East Asia)</p> <p>B 13.0 D 2.4 N 11.3 L 84.2</p>	 <p>China (East Asia)</p> <p>B 4.3 D 2.0 N 2.7 L 76.8</p>	 <p>India (South Asia)</p> <p>B 0.5 D 0.8 N 1.5 L 69.5</p>
 <p>New Zealand (Oceania)</p> <p>B 2.6 D 3.3 N 10.2 L 81.8</p>	 <p>The United States (North America)</p> <p>B 2.9 D 2.6 N 11.7 L 78.7</p>	 <p>Mexico (North America)</p> <p>B 1.0 D 2.4 N 2.9 L 75.0</p>
 <p>Columbia (South America)</p> <p>B 1.7 D 2.2 N 1.3 L 77.1</p>	 <p>The United Kingdom (Northern Europe)</p> <p>B 2.5 D 2.9 N 7.8 L 81.3</p>	 <p>Sweden (Northern Europe)</p> <p>B 2.1 D 4.1 N 10.9 L 82.6</p>
 <p>France (Western Europe)</p> <p>B 5.9 D 3.4 N 10.5 L 82.8</p>	 <p>Germany (Western Europe)</p> <p>B 8.0 D 4.3 N 12.9 L 81.0</p>	 <p>South Africa (Southern Africa)</p> <p>B 2.8 D 0.8 N 1.3 L 63.9</p>

出典：OECD 2019, *Health at a Glance*.

パラグラフを4つのタイプに分類し、それぞれの論理構造を学びながら、80～120語程度のパラグラフを書く練習ができます。

Paragraph パラグラフを書いてみよう！

パラグラフの種類と論理展開

パラグラフとは、ある1つのtopic「主題」について述べた文のまとまりです。主題や長さにかかわらず、基本的な構造は共通していますが、パラグラフの果たす目的によって、使われる表現や本論部分の書き方にはいくつかのバリエーションがあります。ここでは、パラグラフの基本的な構造と、〈比較・対照〉、〈因果関係〉、〈問題解決〉の3タイプのパラグラフを取り上げて、論理展開を学びます。なお、この3タイプ以外に〈描写・説明〉の形式もあります(参考:「スピーチをしてみよう!」p.32)。

パラグラフの4タイプ

描写・説明
Description

ものや人、出来事などについて、わかりやすく描写し、説明する。

比較・対照
Comparison

対照的なもの、ことを取り上げて、比較しながら類似点や相違点を論じる。

因果関係
Cause and Effect

ある現象について、何が原因となってどのような結果になるのかを示す。

問題解決
Problem-Solution

ある問題について、問題の状況を提示し、具体的な解決策を提案する。

パラグラフの基本展開 どのようなタイプのパラグラフでも基本的な構造は同じ！

■全体で80～100語(5～10文、1文あたり8～20語)のパラグラフの場合

Topic Sentence	<p>Point 1 パラグラフで扱う主題、主張、意見を示す。</p> <p>パラグラフの最初の文は、発信者が、このパラグラフでどのようなことを伝えたいかを示すラベルの役割を果たします。たとえば、「多くの若者のあいだで難聴の問題が増加しているのはなぜなのだろうか」と疑問文で主題を示すこともできますし、「朝食は抜くべきではない」と主張や意見を示すこともできます。</p> <p>▶全体で80～100語の場合、最初の1文、10語程度</p>
Supporting Sentences	<p>Point 2 提示した主題、主張、意見を、理由や具体例によって裏付ける。</p> <p>Topic Sentence が読み手にとって納得できるものになるように、理由や具体例を挙げます。発信者の考えは Topic Sentence で述べているので、ここでは、客観的な事実を理由や例として提示することで、自分の意見がより説得力のあるものになります。情報を整理して手短かに伝えましょう。</p> <p>▶全体で80～100語の場合、50～70語程度。理由、具体例は2～3個程度</p>
Concluding Sentence	<p>Point 3 パラグラフの内容をまとめ、結論を述べる。</p> <p>Supporting Sentences の内容を1文にまとめて、Topic Sentence につながる1文を述べるのが Concluding Sentence の役割です。Supporting Sentences の内容をあえてまとめる必要がないシンプルなパラグラフや、Topic Sentence が明確であえて言い直す必要がない場合は、Concluding Sentence はなくても構いません。</p> <p>▶全体で80～100語の場合、最後の1文、10～15語程度</p>

Paragraph

〈比較・対照〉のパラグラフ

Example：映画は映画館で見るかオンデマンドで見るか



While more and more people are watching movies on demand, some people still prefer to go to theaters. They say watching movies in a theater is a completely different experience from watching at home. For example, theaters have a large screen and quality speakers. This enables the audience to better enjoy movies. **In contrast**, on-demand movies allow people to watch movies anywhere and anytime, in spite of a small screen and bad sound quality. In addition, it costs less than buying movie tickets. The point is that people choose one or the other, depending on their needs.

(97 words)

E-Guide 比較・対照

While ..., ～. 「…である一方、～」: …と～の内容を対比しているが、～の内容に主眼をおいている。
In contrast (to ...), ～. (…とは)対照的に、～: 前述の内容と対比させて、新しいことを述べる。
By contrast, ～. 「対照的に～」: In contrast と同様に、前述の内容と対比させて、新しいことを述べる。
On the other hand, ～. 「一方で、～」: 前述の内容と対比させて、新しいことを述べる。

その他の論理マーカー

・for example 〈例示〉, in spite of ... 「…にもかかわらず」〈譲歩〉, in addition 〈追加〉,
The point is (that) 〈要点、まとめ〉

パラグラフ・ライティングの実践 〈比較・対照〉のパラグラフを書いてみよう！

- Topic: Online Shopping vs In-Store Shopping
- 長さ: 約80～100語
- 時間の目安: 約30分(調べ物…10分、構成の検討…5分、書く時間…15分)

Task 1 トピックについて調べて、メモをつくろう。

	Online shopping	In-store shopping
長所		
短所		

Task 2 メモをもとに、全体の流れを決めて、Topic sentence を書こう。

Task 3 Task 1 でつくったメモをと Task 2 で書いた Topic sentence をもとに、パラグラフを書いてみよう。

Example topics

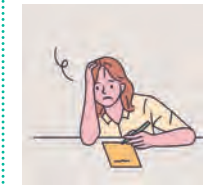
ほかのトピックでも〈比較・対照〉のパラグラフを書いてみよう。
「学校での授業とオンライン授業」, 「紙の本と電子書籍」, 「持参するお弁当と学食」

〈因果関係〉のパラグラフ

〈因果関係〉のパラグラフの目的

〈因果関係〉のパラグラフが目的とするのは、ある現象や問題について、何が原因となってどのような結果になるのかを明らかにすることです。取り上げる現象や問題は、ポジティブなこともネガティブなことも含み、この点で、ネガティブな問題について論じる問題解決のパラグラフとは異なります。

Example：長時間座っていることの影響



①People are sitting more and more these days. ②This leads to various health problems, according to a recent study. ③First, sitting for long periods weakens our muscles and causes back and neck pain. ④Second, sitting in the same position has a bad effect on our blood flow. ⑤As a result, it can increase the risk of high blood pressure. ⑥What can we do? ⑦We can just stand up. ⑧Doctors say that, if possible, we should stand up and take a break every thirty minutes. (84 words)

■ Topic sentences：①, ②／ Supporting sentences：③, ④, ⑤／ Concluding sentences：⑥, ⑦, ⑧

〈因果関係〉のパラグラフには、2種類の展開があります。

〈原因〉→〈結果〉 Cause → Effect	People are sitting more and more these days. This leads to various health problems, according to a recent study. 原因▶人々はかつてないほど座っている。 結果▶このことが、さまざまな健康の問題や病気を引き起こしていると最近の研究が示している。 英語の文章では、〈最初に述べること〉＝〈最も伝えたいこと〉が基本です。ある問題について述べる場合、最初に〈原因〉を示すことで、読み手に「あなたも心当たりがありませんか」と問いかけて、文章に引きこむことができます。
〈結果〉→〈原因〉 Effect → Cause	A recent study shows that various health problems are caused by sitting for long periods. 結果▶最近の研究は、さまざまな病気が引き起こされていると示している。 原因▶長時間、座っていることによって 最初に問題となっている〈結果〉を示すことで、読み手にインパクトを与え、あとの〈原因〉を読む動機づけをすることができます。

E-Guide 因果関係

(原因)+lead to+(結果)「(原因)は(結果)につながる」／(原因)+cause+(結果)「(原因)は(結果)を引き起こす」／have a ... effect on～「～に…な影響を及ぼす」／as a result「結果として」
therefore/thus/hence「それゆえに」／accordingly/consequently「したがって」／result in ...「…という結果になる」

その他の論理マーカー

first / second 〈列挙〉

パラグラフ・ライティングの実践 〈因果関係〉のパラグラフを書いてみよう！

- Topic: Lack of Exercise among Young People
- 長さ：約80～100語
- 時間の目安：約30分(調べ物…10分, 構成の検討…5分, 書く時間…15分)

Task 1 トピックについて調べて、メモをつくろう。

【Step 1】〈結果〉はトピックの「若者の運動不足」なので、原因と思われることと、その原因が直接的に引き起こすことを表に書きこんでいこう。

Causes	Direct effects
・スマートフォンの普及などにより娯楽の種類が増えた。	・娯楽として定期的にスポーツをする人が減った。
.....
.....
.....
.....

【Step 2】調べ物をする場合は、トピックを英語でも検索するなどして、「若者の運動不足」に関するキーワードやフレーズを英語でリストにしよう。

Keywords and Phrases

physical activity「身体的な活動」,

Task 2 メモをもとに、全体の流れを決めて、Topic sentence を書こう。

Task 3 Task 1 でつくったメモと Task 2 で書いた Topic sentence をもとに、パラグラフを書いてみよう。

Task 4 ベアになって、ピアチェック&フィードバックをしよう。

【Step 1】ベアになって、下記の表にしたがってお互いのパラグラフを評価しよう。評価したら、自分のパラグラフも自己評価しよう。

	Your friend's paragraph	Your paragraph
【論理展開】 トピックについて、〈原因〉と〈結果〉の関係がわかりやすく示されている。	3 2 1	3 2 1
【英語表現】 〈因果関係〉を示すために、適切な文法や表現が正しく使われている。	3 2 1	3 2 1
【内容】 興味深い内容である。	3 2 1	3 2 1

【Step 2】パートナーのパラグラフに “That's interesting.”, “I think so, too!” など、一言感想を書こう。

Example topics

ほかのトピックでも〈因果関係〉のパラグラフを書いてみよう。

「気候変動(Climate Change)」, 「少子化(A Declining Birthrate)」

コミュニケーションにつながる英語表現

話しかける

Do you have a moment? (お時間はありますか)
Can you spare a minute? (ちょっといいですか)
Can I ask you a question? (質問してもいいですか)
May I ask you something? (お伺いしてもよろしいですか)
May I talk to you? (お話ししてもよろしいですか)
Sorry to bother you, but could I speak to you for a moment?
(ちょっとすみませんが、少しお話ししてもよろしいでしょうか)
※ Can I...? のように can を使うのはカジュアルな表現で、could を使うとていねいになる。
May I...? のように may を使うのは、目上の人に話しかけるような場合。



話に割って入る

Excuse me for interrupting, but (話の途中で申し訳ありませんが、...)
Sorry to interrupt, but I have a question. (話の途中ですみませんが、質問があります)
Could I say something? (私が話してよろしいですか)

話に反応する

That's nice [great]. / That's a good idea. / Sounds like a good idea. / That's a good point.
(いいですね)
That's too bad. / I'm sorry to hear that. (それはお気の毒に)
You're kidding! / You're joking! (冗談でしょ!)
I can't believe it! / Unbelievable! / Incredible! (信じられない!)
Oh, really! (そうなんだ!)/ Oh, really? (そうなの?)
Are you serious? (本気で言ってるの?)
I hope so. (そうだといいですね)/
I think so. (そうだと思います)
I see. / I understand. (わかりました)
So do I. / So am I. / Me too. (私もです)
Neither do I. / Neither am I. / Me neither.
(私も違います)
That's right. / Exactly. (そのとおりです)
Well, let me see. / Well, let me think.
(えーっと、そうですね)
I'll have to think about that. (そのことは考えておきますよ)
Hmm, that's a difficult question. (うーん、それは難しい質問です)
That's a good question. (それはいい質問です)
I'm not sure. (よくわかりません)/ I have no idea. (まったくわかりません)



論理展開を示す英語表現

比較対照する	「対照的に」	in [by] contrast / by comparison
	「…と比べると」	in [by] contrast to [with] ... by [in] comparison with [to] ...
	「他方では」	on the other hand
反対の内容を示す	「しかしながら」	however
	「それにもかかわらず」	nevertheless / nonetheless / still / yet
	「それどころか、逆に」	on the contrary
	「そうでなければ」	otherwise
類似点を挙げる 言い換える	「同様に」	similarly / in the same way
	「言い換えると」	in other words
	「つまり」	that is
例を示す	「たとえば」	for example / for instance
	「一般に」	in general / as a rule
	「特に」	in particular
列挙する	「最初に」	first / first of all / to start [begin] with / in the first place
	「次に」	second / next (※「3番目に」はthird)
	「最後に」	last / finally / last of all ※ firstly, secondly, lastlyという表現もある
情報を追加する	「そのうえ」	besides / furthermore / moreover
	「さらに」	in addition / what is more
	「また」	also
論点をまとめる	「要するに」	in sum / to sum up / in short / in brief / in summary
	「ひとりで言えば」	in short
	「結局」	after all
結果や結論を 導き出す	「その結果」	as a result
	「結論として」	in conclusion
	「全体として」	on the whole
	「それゆえに」	therefore / thus / hence
	「したがって」	accordingly / consequently



All-in-One Workbook

文法ドリル，表現演習，書きこみ式ノートを一体化

本冊

LESSON 14

Great Achievements

関係代名詞を使って有名人や、彼らの功績について説明する 図 pp.89-93 図 pp.208-211, 214-215

1 [] から適切な語を選び、英文を完成させなさい。

(1) 私はインドに住むいとこがいます。

I have a cousin _____ lives in India.

(2) ジャネットは買った本を私に見せてくれた。

Janet showed me the book _____ she bought.

(3) 私は彼の言ったことが聞こえなかった。

I couldn't hear _____ he said.

[what / which / who]

関係代名詞の文では、まず関係詞節が説明を加えている名詞(先行詞)が何か、そして関係詞節の中で関係代名詞が何のはたらきをしているかを見極めることが大切だ。(3)は先行詞にあたる名詞が見当たらないことにも注意が必要だ。

2 イラストの内容に合うように、与えられた語を必要な形を変えて使い、英文を完成させなさい。



- (1) I have _____ [a parrot, can talk] A
- (2) _____ was very sad. [the book, he, read] B
- (3) I didn't understand _____ in the book. [what, write] C

3 与えられた状況を参考に、空所に連語を入れて発言を完成させなさい。

(1) どんな犬を飼ってるの?と聞かれて、あなたは……

I have a white dog () () long hair.

(2) 昨日の映画はどうだった?と聞かれて、あなたは……

The movie () () saw yesterday was boring.

(3) 友人が誕生日にほしいものを知りたいあなたは……

Tell me () () want for your birthday.

4 () の語句を並べかえて、日本語に合う英文をつくりなさい。

(1) ニナは7弦ギターを買った。
(has / bought / seven / Nina / a guitar / that / strings) .

(2) これらは私がアラスカで撮った写真だ。
(took / are / Alaska / the photos / these / I / in) .

(3) 私は昔の私ではない。
(am / be / what / I / I / used to / not) .

5 Nao と Jason の会話を聞いて、質問に合う答えを1文で書きなさい。

(1) Where does Jason's cousin live?

(2) When should Nao visit there?

(3) What is Nao worried about?

Make your own sentences!

あなたが好きな歌手や本について、「私が好きな～は○○です」と書いてみよう。さらに、「What I like about ... is ～」とそれについてあなたが好きだと思う点を説明しよう。書けたら、友だちに「あなたが好きな～は何ですか?」とたずねる文を書いてみよう。

【好きなもの】

【その好きなところ】

【あなたが好きな～は何?】

HINT 名詞の後置修飾

名詞を修飾する場合、最も単純な方法は a nice dress のように、名詞の前に形容詞を置くやり方です。しかし、これではあまり長くて複雑な説明を加えることはできません。そこで、不定詞や関係詞節を名詞の後ろに置いて、後ろから名詞に説明を加える方法があります。a nice dress to wear to a wedding 「結婚式に着ていく素敵なドレス」や、a nice dress that cost more than 50,000 yen 「5万円以上した素敵なドレス」とすることで、表現の幅が広がり、さまざまな文をつくるできるようになります。

Workbook本冊 (48ページ／1レッスン2ページ構成)

- 教科書の学習項目に焦点を絞り、豊富なヒントで学習をサポート
- イラスト問題・リスニング・状況から考える問題あり
- Make your own sentences! のコーナーでは教科書 Share & Write の準備が可能

別冊 書きこみ式ノート (40ページ／1レッスン2ページ構成)

- 教科書の基本例文練習&Vocabulary 確認コーナーあり
- 教科書 Task のヒント&解答欄を掲載

別冊 解答・解説書 (32ページ)

- Workbook の問題の解答，解説，リスニング問題のスクリプトを掲載

All-in-Workbook の内容と活用例

- Workbook は1レッスンあたり15 ～ 20 分程度の学習時間を想定

活用例①: 授業中に教科書の補完としてWorkbookを使用

→全問題に出題範囲 A ～ C を掲載しているので
項目ごとの学習が可能

活用例②: 生徒に配布し自宅学習用教材として使用

→出題範囲やヒントで自宅学習をサポート
→解答・解説書は解説が豊富なため、先渡し方式でも使用可能

別冊 書きこみ式ノート

LESSON 14

Great Achievements

関係代名詞を使って有名人や、彼らの功績について説明する 図 pp.89-93 図 pp.208-211, 214-215

A 「～する+名詞」と伝える

関係代名詞(主格)

✓ Check! 日本語を英語にしよう。

① この大学を創立した人の名前をご存じですか。

② 彼らは障がいのある人々を助けるロボットを作っている。

Task 1

(1)

(2)

(3)

HINT! The person の述語動詞は、過去の人なら was、生きている人なら is であることに注意しよう。

B 「…が～する+名詞」と伝える

関係代名詞(目的格)

✓ Check! 日本語を英語にしよう。

③ あなたが最も尊敬する人のことを話してください。

④ これは私たちがほしいと思っていた新しいテクノロジーです。

Task 2

①

Voca-Check

国 人を発明する		国 重力	
電球		国 細胞	
国 ～を発見する		国 絵画	

②

③

HINT! 付加疑問は、肯定文+否定形・否定文+肯定形の形になることに注意しよう。

C 「～するもの／こと」と伝える

関係代名詞(what)

✓ Check! 日本語を英語にしよう。

⑤ 私を感動させたのは彼の発明の才能だった。

⑥ 私は彼女が発見したものが信じられない。

Task 3

(1)

(2)

(3)

HINT! イラストを直接指す場合は it ではなく this を使うことに注意しよう。

HINT 関係代名詞の区別

- 先行詞が人 … 主格: who, 目的格: whom[who]
- 先行詞がもの … 主格: which, 目的格: which
- that … 先行詞が人でもものでも使える
- 先行詞がなく、「～するもの／こと」の意味 … what

Wrap-Up 関係代名詞のまとめ

- ・〈名詞+who/that/which+動詞 …〉で「～する+名詞」のように名詞に説明を加えることができる。
- ・〈名詞+whom[who]/that/which+主語+動詞 …〉で「…が～する+名詞」の意味を表すことができる。
- ・〈what (+主語) +動詞〉で「(…が) ～するもの／こと」の意味を表すことができる。

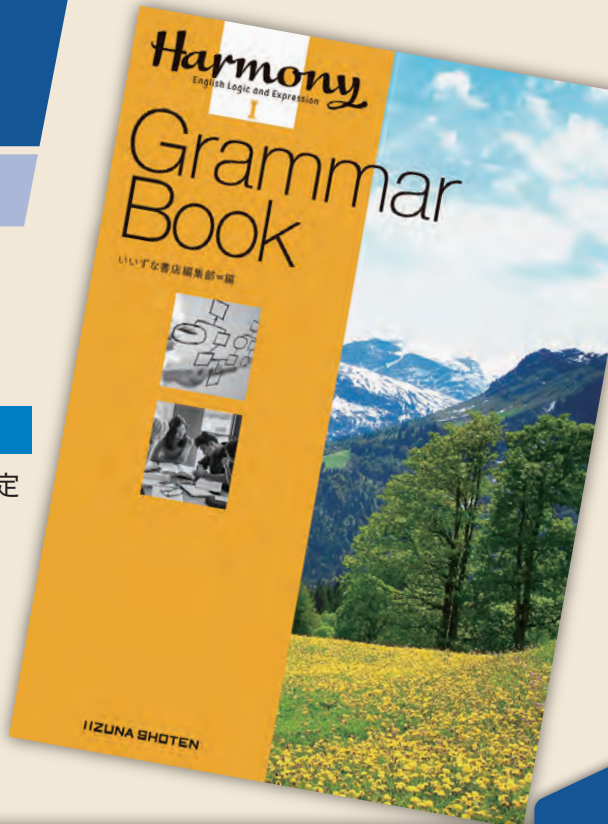
Voca-Check

国 神人		国 おろかな	
国 博物館、美術館		国 勇気な	
国 ～を感動させる		国 好奇心の強い	



Grammar Book

教科書の学習項目+αの文法特化型ワークブック



LESSON 14.1 関係代名詞

収録 pp.89～92

A 関係代名詞(主格)

pp.208～209

○先行詞が「人」なら who, 「人以外」なら that / which を使う。

① Do you know the name of the person **who** founded this college?
(この大学を創立した人の名前をご存じですか)

② They're creating robots **that** help people with disabilities.
(彼らは障がいのある人々を助けるロボットを作っている)

③ 「～する人」のように、「人」に説明を加えるときは、〈名詞(人) + who + 動詞 ...〉とする。この who を関係代名詞といい、関係詞節(関係詞で始まる語のかたまり)で説明を加える名詞を先行詞という。

that も使うことができるが、「人」の場合、who を使うのがふつう。

④ 「～するもの」のように、人以外のものに説明を加えるときは、〈名詞(人以外) + that / which + 動詞 ...〉とする。

◆③、④の関係代名詞は説明部分(＝関係代名詞節)の中で主語のはたらきをしている(主格)。



Do you know the name of the person **who** founded this college? ※ who は founded の主語にあたる。

先行詞 関係代名詞 動詞
(主格)

B 関係代名詞(目的格)

pp.210～213

○先行詞が「人」なら whom / who, 「人以外」なら that / which を使う。

③ Tell me about the person **whom** you respect most.
(あなたが最も尊敬する人のことを話してください)

④ This is the new technology **that** we have wanted.
(これは私たちがほしいと思っていた新しいテクノロジーです)

⑤ 「…が～する人」のように、説明部分に〈主語 + 動詞〉が含まれる場合は、〈名詞(人) + whom / who + 主語 + 動詞 ...〉とする。whom を使うのが正しいが、口語では who を使うことが多い。

⑥ 「…が～するもの」のように、人以外のものに〈主語 + 動詞〉を含む説明を加えるときは、〈名詞(人以外) + that / which + 主語 + 動詞 ...〉とする。

◆⑤、⑥の関係代名詞は説明部分(＝関係代名詞節)の中で目的語のはたらきをしている(目的格)。

Tell me about the person **whom** you respect most. ※ whom は respect の目的語にあたる。

先行詞 関係代名詞 主語 動詞
(目的語)

◆目的語のはたらきをする関係代名詞は省略することができる。

③ = Tell me about the person you respect most.

④ = This is the new technology we have wanted.

📌 + α

関係代名詞が前置詞の目的語のはたらきをすることもある。

Most of the people **whom** I talked to agreed to my plan. ※ whom は前置詞 to の目的語のはたらきをしている。

(私が話した人のほとんどは、私の計画に賛成してくれた)

EXERCISES

1 日本語の意味に合うように、[] から適切な語を選びなさい。

- (1) ステージで踊っている女の子は私の妹だ。
The girl [who / which] is dancing on the stage is my sister.
(2) これは横浜行きの電車ですか。
Is this the train [who / that] goes to Yokohama?
(3) 私には病院で働いているおじいさんがいる。
I have an uncle who [work / works] in a hospital.

2 日本語の意味に合うように、() に適切な語を入れなさい。ただし、関係代名詞は that 以外を使うこと。

- (1) あなたは昨日私たちがバスで会った男性を覚えていますか。
Do you remember the man () () () on the bus yesterday?
(2) あなたが私に貸してくれた DVD はとてもおもしろい。
The DVD () () () me is very interesting.

3 各組の文がほぼ同じ意味になるように、() に適切な語を入れなさい。ただし、関係代名詞は that 以外を使うこと。

- (1) I have to return the book. I borrowed it last week.
I have to return the book () () last week.
(2) The woman has three cats. She lives next door.
The woman () () next door has three cats.

4 日本語の意味や与えられた状況に合うように、() 内の語句を並べかえなさい。

- (1) これはトムが先週買った自転車だ。
(bought / is / this / Tom / the bicycle) last week. last week.
(2) 状況 あなたはブラウン先生がどういう人か説明しています。
Mr. Brown (the teacher / is / science / teaches / us / who).
Mr. Brown
(3) 状況 タナカ先生が、あなたが置き忘れた筆箱を持っています。
This is (I've / for / that / been / the pencil case / looking).
This is

📌 TRY! [] 内の語を参考にして、～や…に自由に語句を入れ、オリジナルの英文をつくりなさい。

- (1) 彼女は～することができる生徒だ。[speak / play]
She is a student
(2) これは～が私にくれた…だ。[book / T-shirt]
This is me.

Grammar Book の内容と活用例

● Grammar Book は 1 レッスンあたり 20 ～ 30 分程度の学習時間を想定

活用例①: 授業中に教科書の補完として Grammar Book を使用

→教科書の未習項目は「発展」とわかりやすく記載

活用例②: 生徒に配布し自宅学習用教材として使用

→総合英語 Harmony の対応ページを掲載: 参考書でより深い学びが可能

→実践的な問題形式で定期試験や外部試験の対策が可能

LESSON 14.2 関係代名詞

収録 pp.91～92

C 関係代名詞 (what)

pp.214～215

○関係代名詞 what は「～するもの/こと」という意味で、名詞のはたらきをする節をつくる。

- ⑥ What impressed me was his talent for invention.
(私を感動させたのは彼の発明の才能だった)
⑥ I can't believe what she discovered.
(私は彼女が発見したものが信じられない)

⑦ 「～するもの/こと」は〈what + 動詞 ...〉で表せる。この what は関係代名詞で、名詞のはたらきをする節をつくる。関係代名詞 what は先行詞を含んでいるので、直前に名詞を必要としない。

⑧ 「…が～するもの/こと」は〈what + 主語 + 動詞 ...〉で表せる。

◆関係代名詞 what がつくる節は主語・補語・目的語になる。

What impressed me was his talent for invention. ※ what で始まる関係代名詞節が文の主語になっている。

I can't believe what she discovered. ※ what で始まる関係代名詞節が believe の目的語になっている。

📌 Check!

関係代名詞 what を使った表現: what I am 「今の私」、what I used to be 「昔の私」、what is called ... 「いわゆる～」、what is more 「そのうえ」、what is worse 「さらに悪いことに」など

発展 関係代名詞の非限定用法

pp.216～217

○〈コンマ + 関係代名詞 ...〉で先行詞に情報を追加することができる。

- ⑦ They have two daughters, who are studying abroad.
(彼らには娘が2人いて、どちらも海外留学している)
⑧ The kitchen, which was renovated recently, looks nice.
(台所は、最近リフォームしたので、すてきに見える)

⑨⑩ 先行詞のあとにコンマを入れて、先行詞について補足的に情報を追加することができる。この用法を非限定用法(継続用法)という。(コンマがない場合は限定用法という。)

◆限定用法と非限定用法には次のような違いがある。

【限定用法】 They have two daughters who are studying abroad.

先行詞 関係代名詞

※留学している2人以外にも娘がいるかもしれない。

【非限定用法】 They have two daughters, who are studying abroad.

先行詞 関係代名詞

※娘は2人だけで、2人とも留学している。

📌 + α

先行詞が固有名詞の場合は必ず非限定用法になる。

This is Enc, who teaches English at our school. (こちらがエリックで、私たちの学校で英語を教えています)

◆関係代名詞 that は非限定用法では使えない。非限定用法で説明を加えるときは、必ず who や which など、that 以外の関係代名詞を使う。

EXERCISES

1 日本語の意味に合うように、関係代名詞 what を使って、英文を完成させなさい。

- (1) 私は彼女が言ったことが理解できない。
I don't understand
(2) 大切なのはお互いに助け合うことだ。
..... is to help each other.
(3) これは私が注文したものではない。
This is not

2 日本語の意味に合うように、() に適切な語を入れなさい。

- (1) 私はいわゆる J ポップをよく聞きます。
I often listen to () () "J-pop."
(2) 暗かった、そしてさらに悪いことに、雨が激しく降り始めた。
It was dark, and () was (), it began to rain hard.
(3) この店のピザは安くて、そのうえおいしい。
This shop's pizza is cheap, and () () (), it is tasty.

3 日本語の意味に合うように、[] から適切な語を選びなさい。

- (1) 父は私に新しいスマートフォンを買ってくれて、私はそれを毎日使っている。
My father bought me a new smartphone [which / , which] I use every day.
(2) ケンはオーストラリア出身だが、日本語をとても上手に話す。
Ken, [that / who] is from Australia, speaks Japanese very well.

4 日本語の意味や与えられた状況に合うように、() 内の語句を並べかえなさい。ただし、不要なものが1つ含まれている。

- (1) スーザンのお父さんは銀行に勤めているのだが、しばしば帰宅が遅い。
(a bank / for / Susan's father / which / who / works / ,), often comes home late.
....., often comes home late.
(2) 状況 自分たちの友だちの意外な行動を聞いて…。
(can't / what / we / did / believe / he / which).
.....
(3) 状況 あなたはずっと作業に没頭している友だちが心配になり…。
(need / you / some / what / that / is) rest.
..... rest.

📌 TRY! [] 内の語を参考にして、～や…に自由に語句を入れ、オリジナルの英文をつくりなさい。

- (1) 私は～に住んでいるが、それは～で有名だ。[temples / festival / apples]
I live in
(2) 私が今ほしいのは～だ。[computer / someone / TV]
.....

Grammar Book 本冊 (80 ページ / 1 レッスン 2 ページ構成)

- 教科書の学習項目 + α で、否定、時制の一致・話法、接続詞などもカバー
- 参考書『総合英語 Harmony』の参照ページを掲載、より深い学習をサポート
- 左ページで例文 & 文法解説、右ページで演習問題の使いやすいレイアウト
- イラスト問題・部分英作文あり
- テスト自動作成テストクリエイター対応

別冊 解答・解説書 (44 ページ)

- EXERCISES の解答、解説、英文の日本語訳を掲載



LESSON 1 Start-Up



Start-Up CD1.07～08

☐ 初対面の高校生同士が、出会いのあいさつを交わり、部活動へと向かう対話を读んだり聞いたりして、理解する。

☐ 初対面時に用いられる会話表現、相手を歓迎する表現やあいづちの表現をしっかりと身につけたい。

1. Excuse me. 「すみません」

解説 初対面とかどうかかわらず、人に話しかけるときに用いられる表現。学生にとって、会話表現でイメージが掴みにくいことのひとつが「その表現がどの程度でいいいか、またはカジュアルか」ということである。Excuse me.は、ていねいな表現の中ではもっともカジュアルなグループで、若者も使う。

2. You're Alex, right? 「あなたはアレックスね？」

解説 疑問文で同じ内容を聞く場合、「Are you Alex?」となるが、同じ学年とはいえ「Are you ...?」で名前をたずねるのは直接的でやや失礼に聞こえることがある。確認をとる意味でも、肯定文「You're Alex」のあとに、right?とつけ加える表現がちょうどよい。また、学生にとっても、会話練習のなかで相手の言った内容を確認したい際に、肯定文に、right?とつけ加える方法はやりやすいと思われるので、自然に

えるようにしたい。

3. That's right. 「その通り」

解説 短い会話の中で、Yesを表したり、肯定的なあいづちを打ったりする表現は、外部試験などでの面接にも役立つので、学生に多くストックさせたい。直前の相手の発言内容をうけて「That's ...」で反応するのは、「It's ...」と間違える学生も多いので、しっかり定着させたい。

4. It's nice to meet you, Haruka. 「会えてうれしいよ、ハルカ」

解説 Itが形式主語、to meet youが真主語の不定詞構文だが、定型文として覚えるのがよい。本教科書の前半ではおもに日常的な状況において身近な人を行う対話を取り上げている。そのような対話では、話しかけたり、確認したりする際に相手の名前を意識的に呼ぶことで心理的な距離を縮められるので、教室での対話練習でもベアになった相手の名前を呼ぶよう指導してもよい。

5. Glad to meet you, too. 「こちらこそ（会えてうれしいわ）」

解説 対話に限らず、英語でのコミュニケーションの特徴のひとつが「言い換え」である。「It's nice to meet you.」と言われたときに「It's nice to meet you, too.」と返すのは間違っていないが、「Glad to meet you, too.」などのように言い換えるとより英語らしい自然な表現になる。

6. Everyone is waiting for you there. 「みんなそこであなを待っているわ」

解説 語いとしては、「みんな」を意味する everyone は単数扱いであること、every one と 2語で書く語りが多いが 1語で everyone と書くことをしっかりと確認したい。また、<wait for+人> も for を抜かないよう学生の知識を確認しておくことよい。現在進行形の文をつくるにあたり、学生が正しく-ing 型をつくれるかどうかも見極めが大切である。

7. Oh, really? 「本当？」

解説 「Really?」は非常によく使うあいづち表現であるとともに、発音のしかたによってニュアンスにバ

指導書では下記の内容をカバー

●指導用音声CDのトラック番号

●Start-Up, Interactions, Active Learningごとの指導のポイント

●InteractionsのTaskを指導する際のポイント、評価のポイント

●Taskの解答例

LESSON 1 Interactions



Interactions CD1.09～12

☐ 動詞の時制の中でも、基本となる現在形の用法について学習する。

☐ 動詞は、状態を表す「状態動詞」と、動作を表す「動作動詞」に大別される。両者の相違の中で最も大きな点は「動作動詞は進行形を作るが、状態動詞は進行形は通常作らない」ことである。

☐ 動詞の現在形の活用では、まず三人称単数現在形の-s/-esの付け方を確認したい。不慣れな学生も少なくないので、ていねいに指導していきたい。

A 「(今)～だ」と伝える

現在形（状態動詞）

状態動詞の現在形を使って、「現在の状態を表すこと」を学習する。状態動詞は現在形のままで「今、その状態が続いている」ことが伝わるので、通常、進行形にはならないことに注意させたい。

①心理的な状態を表す状態動詞

解説 like「好きである」は心理的な状態を表す状態動詞。瞬間的なことではなく、過去から未来に広がりがあ

る心理的な状態であることを理解させる。「今、（瞬間的に）～している」という現在進行形にしないように注意させる。〈瞬間〉とは「動画再生中に一時停止をするイメージ」で、runやsleepなどの動作動詞は動画を一時停止しても「何をしているか意味が伝わる」が、likeやhave「持っている」などの状態動詞は動画を一時停止した静止画では動詞の意味が伝わらない。同類の動詞にlove, want, hope, know, think, understandなどがある。

②一般的な状態を表す状態動詞

解説 has「持っている」は心理的な状態ではない、一般的な状態を表す動詞。①同様、「～している」という日本語につられて現在進行形と考えてしまうため注意させる。ただし、haveは「食べる」という意味では動作動詞となり、進行形になる。「動作」が感じられるかどうか注目させる必要がある。同類の動詞にlive, resemble, belongなどがある。

Task 1 状態動詞を使って、自分や身近な人について説明する

解説 be, like, want, have, live inを使って、任意の文をつくる活動。本教科書ではTaskに参考語いがある場合、指示文を「与えられた語句を参考に」としており、参考語いを使わず、自分の言葉で文をつくることを許容している。参考語いはいくまで、ゼロから自分の言葉で文をつくるのが難しい学生のためのものである。

評価のポイント

i)は必須、ii)とiii)ができていればおおむねOKとする。

i) 主語に合わせて動詞が適切な形になっている。(be 動詞、三人称単数現在) 否定文も同様。

ii) 意味の通る文をつくられている。たとえば、「I'm in the tennis club.」は意味が通るが、「I like the tennis club.」は不自然である、など。

iii) 主語・動詞以外の名詞が正しく使えている。兄弟姉妹が1人の場合、a brother, a sisterと冠詞を付けている。またはI likeのあとではsummer, movies, baseballなどにはtheをつけない。同様に、普通名詞の場合はmoviesのように複数形にする。

LESSON 1

Meeting New People

自分のことを話す・相手のことをたずねる

Start-Up

英1-7
日1-8

Alex が国際交流部の活動場所である視聴覚室に向かおうとしています。

Voice



Tips : 英語で会話をするときには、相手の名前を口に出して言うことが大切です。また、にっこり笑ってゆっくり、はっきり話すと、初対面の人ともスムーズなやりとりができるでしょう。

Forms

現在の状態やいつもすることは動詞の現在形を使って表す

Expressions

相手の話の内容に合わせて、「Sure.」などのあいづちを打つことで会話を続ける

🔍 会話中に出てくる「あいづち」表現を探してみよう！

Sounds

1-9

/l/と/r/の発音

● /l/…舌の先を上前歯の歯ぐきに押しつけて「ル」と発音する。

Alex, glad, let's, class

● /r/…口を丸く「ウ」の形にして舌の先をどこにもつげずに「ル」と発音する。

right, room, everyone, really

Talk

● Alex と Haruka になりきって会話をしてみよう！

Alex



Lee 先生に勧められて国際交流部に入った。楽しい部活だといいなあ。

評価のポイント

明瞭な評価のポイントを示し、生徒が小さな成功体験を積み上げられるような指導をサポート。

評価のポイント

i)は必須、i)とii)ができていればおおむねOKとする。

i) 主語に合わせて動詞が適切な形になっている。(be 動詞、三人称単数現在) 否定文も同様。

ii) 意味の通る文をつくられている。たとえば、「I'm in the tennis club.」は意味が通るが、「I like the tennis club.」は不自然である、など。

iii) 主語・動詞以外の名詞が正しく使えている。兄弟姉妹が1人の場合、a brother, a sisterと冠詞を付けている。またはI likeのあとではsummer, movies, baseballなどにはtheをつけない。同様に、普通名詞の場合はmoviesのように複数形にする。

Interactions 自分や身近な人のことを伝える

A 「(今)～だ」と伝える

英1-11
日1-12

- ① I **like** cats very much.
② My brother **has** two bikes.

現在形 (状態動詞)

私は猫が大好きだ。
兄は自転車を2台持っている。

F-Guide

- ① 好きなものやほしいもの、知っていることや思っていることなど、現在の心理や感覚を表すときは動詞の現在形を使う。
② 持っているものや住んでいる所のような現在の状態を表すときも、動詞の現在形を使う。



Write one sentence about yourself and one sentence about someone around you. One of the sentences should use the negative. You can use the words in the list below.

Task 1 与えられた語句を参考に、自分のことについて1つ、ほかの人のことについて1つ、英文を書いてみよう。どちらか1つは否定文にしよう。

(例) I **have** a little **brother**. He **is** five years old.
I **don't like** **summer**. It's too hot.

動詞	be / like / want / have / live in
人・もの・こと	brother / sister / summer / winter / movies / baseball / a smartphone / the tennis club

状態を表す動詞:

like / love / have / want / hope / know / think / live / resemble / believe / understand など

I **have** a little **sister**. / She **doesn't have** a **smartphone**.

B 「(いつも)～する」と伝える

英1-14
日1-15

- ③ My mother **drives** to work *every day*.
④ My cat *usually* **sleeps** on the sofa.

現在形 (動作動詞)

母は毎日、車で仕事に行く。
私の猫はふだんソファで寝る。

F-Guide

- ③ 習慣になっているようなことや繰り返すことを表すときは、動詞の現在形を使う。
④ どのくらいの頻度なのかを表すときは、always 「いつも」、usually 「ふだん(は)」などの副詞を、be 動詞の後ろか一般動詞の前に入れる。

always > usually > often > sometimes > never
「いつも」 「ふだん(は)」 「よく」 「ときどき」 「決して～ない」

Vocabulary

1-21

<input type="checkbox"/> live in ...	…に住んでいる	<input type="checkbox"/> 数+year(s) old	～歳	<input type="checkbox"/> video game	テレビゲーム
<input type="checkbox"/> resemble	<input type="checkbox"/> 動 ～に似ている	<input type="checkbox"/> too	<input type="checkbox"/> 副 ～すぎる	<input type="checkbox"/> drink	<input type="checkbox"/> 動 ～を飲む
<input type="checkbox"/> hope	<input type="checkbox"/> 動 ～を願う、望む	<input type="checkbox"/> smartphone	<input type="checkbox"/> 名 スマートフォン	<input type="checkbox"/> coffee	<input type="checkbox"/> 名 コーヒー
<input type="checkbox"/> understand	<input type="checkbox"/> 動 ～を理解する	<input type="checkbox"/> tennis club	テニス部	<input type="checkbox"/> get up	起床する

You and the People around You

Task 2

ペアになって、下のイラストから1つ選び、自分がいつもすることなら“I...”, しないことなら“I don't...”と書き出してパートナーに伝えよう。パートナーはE-Guideを参考に、あいづちを打って反応しよう。

(例) A: I **play video games** every day. B: Really? Me, too.

- (1) A: I **don't drink** coffee.
B: Really? I **like** coffee very much.
(2) A: I **get up at** 6:30 every morning.
B: Me, too.



E-Guide

あいづち

- ☐ Sure. 「もちろん、そうだよ」
☐ Really? 「そうなの?、本当に?」
☐ I see. 「なるほど」
☐ Me, too. 「私も」
☐ That's nice[good/great]. 「それはいいね」
☐ That's too bad. 「それは残念だね、気の毒に」

C 「(今)～している最中だ」と伝える

英1-18
日1-19

現在進行形 (am/are/is -ing)

- ⑤ I'm **waiting** for the school bus.
⑥ My cat **is getting** fat these days.

私はスクールバスを待っている。
私の猫は最近太ってきている。

F-Guide

- ⑤ 「(今)～している最中だ」という、行われている最中の動作を表すときは、現在進行形 (am/are/is + 動詞の ing 形) を使う。Aのような状態を表す場合は進行形にしない。
⑥ 変化している最中のことを表すときも、現在進行形を使う。



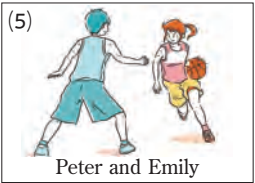
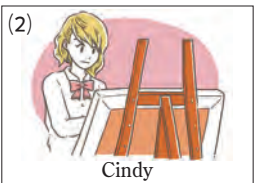
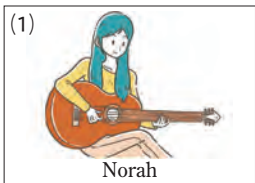
Make pairs and talk about the people in the illustrations.

Task 3

ペアになって、イラストの人物が何をしているのか話してみよう。

(例) A: What is **Tim** doing?
B: He **is drinking** water.

- (1) A: What is **Norah** doing?
B: She **is playing** the guitar.
(2) A: What is **Cindy** doing?
B: She **is drawing** a picture.
(3) A: What is **Adam** doing?
B: He **is swimming** (in the pool).
(4) A: What are **Josh and Susan** doing?
B: They **are dancing**.
(5) A: What are **Peter and Emily** doing?
B: They **are playing** basketball.



SELF-CHECK 到達度を自己評価してみよう

- ☐ A 自分や身近な人・ものの現在の状態を伝えることができる。(現在形 | 状態動詞)
☐ B 自分や身近な人がいつもすることを伝えることができる。(現在形 | 動作動詞)
☐ C 今している最中のことを伝えることができる。(現在進行形)
☐ Expressions 相手の話の内容に合わせて適切なあいづちを打つことができる。

Active Learning 自己紹介

1-23 Write 自己紹介の文を書く

次の文章を参考に、5文以上で自己紹介を書いてみよう。

Hello, everyone. My name is Yamada Sakura. I went to Nakahata Junior High School. I like K-pops. My favorite singer is JJ. I want to visit Korea some day. Nice to meet you.

Hints for Logical Writing

自己紹介では名前やニックネーム、出身校などの自分についての〈大まかな情報〉、次に興味のあることや将来の計画など自分をよく知ってもらうための〈より個人的な情報〉という順で書くと、伝わりやすくなります。

1-24 Share 自己紹介をする

グループになって、次の手順を参考に、1人ずつ自己紹介をしよう。

1 あいさつ

1 Hi, everyone.

2 大まかな情報

2 名前や(あれば)ニックネーム
My name is Sato Hinata. Please call me Hina.
出身校、住んでいる場所など
I went to Sakura Junior High School.
I live in Nanairo City.

3 より個人的な情報

3 好きなもの・ことなど
I like tennis very much.

4 あいさつ

4 Nice to meet you.

Plus

- 2 住んでいる場所についてひと言プラス。(I live in Kagawa. It's famous for *udon*.)
- 3 好きなもの・ことについてひと言プラス。(I want to join the school tennis club.)
+ 家族やペット、趣味についてひと言。(I have a white cat, and her name is Momo.)

SELF-CHECK

到達度を自己評価してみよう ③...◎, ②...○, ①...△

- 自分のことを説明する英文を書くことができた。
- 示された展開にそって自己紹介をすることができた。
- グループのメンバーとアイコンタクトをとりながら話すことができた。

③ ② ①
③ ② ①
③ ② ①

指導用パワーポイント

指導資料セットDVD-ROMに収録

授業・指導内容に合わせて自由に改変できるフレキシブルさが魅力

教科書の本文を項目ごとにわかりやすく表示し、モデル会話や例文などの音声を搭載。スライドの内容やページ構成などは、先生ご自身で修正・追加・削除していただくことができます。

各レッスンの収録内容

- Start-Upのモデル会話 (マンガ/スクリプト) 会話全体の通し音声と発言ごとの音声を収録
- Soundsの解説と音声
- Interactionsの例文とTask 例文音声とTaskの指示 (英文) 音声を収録
- Active Learningのモデル英文

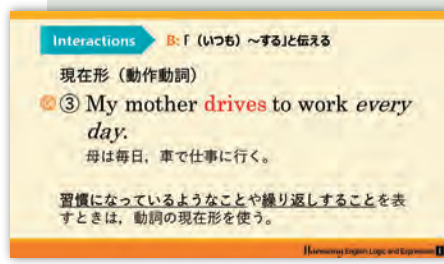
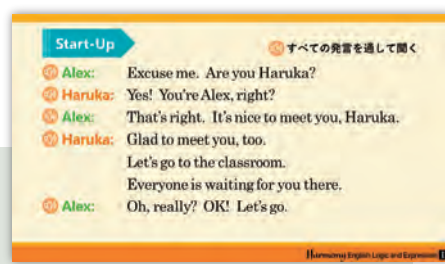


各レッスン冒頭にもくじのスライドを収録。見たいスライドに1クリックで飛ぶことができます。



● Start-Up : 通し音声の再生、マンガの吹き出しごとの音声の再生ができます。

スクリプトを確認しながら音声に合わせて発話させることもできます。



● Interactions : 例文は音声も聞くことができ、1文ずつ大きく表示しています。



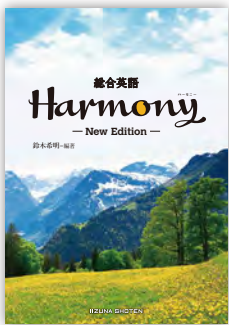
● Task : Taskはイラストも表示しています。



フラッシュカード (Excel マクロファイル)

- 各レッスンの Vocabulary と例文を収録 レッスンを指定して、「ランダム表示」「教科書掲載順表示」「英語/日本語だけ表示」「両方表示」などの方式でフラッシュカードを表示できます。
- 単語・例文・自由登録シートを収録 自由登録のシートには任意のデータを入力し、フラッシュカードとして表示できます。
- 例文問題 (空所補充・部分英訳) を収録 全例文を4ステップで暗唱できます。

総合英語Harmony New Edition 改訂



Iと例文一致

鈴木希明＝編著
A5判 512頁
定価：1,573円（本体1,430円＋税）

Harmony English
Logic and Expression I・II



Harmonyの5大特長

1 教科書Iと共通の例文

教科書と併用することで、学習文法項目がより確実に身につきます。授業の予習・復習に最適。

2 教科書と同一著者による執筆

統一した文法観による解説を通して、理解が着実に深められます。

3 着実に身につくスモールステップ方式

「基本を身につける」→「応用力を養う」→「表現につなげる」と段階を踏んだ構成なので、無理なく学習を進められます。

4 英語力の基礎となる項目を厳選。ビジュアル的な解説

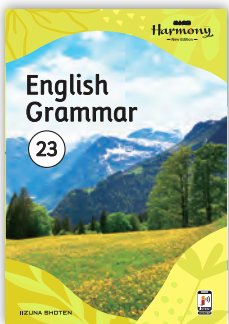
イラストを活用したわかりやすい解説と豊富な例文で、英文法が感覚的に理解できます。

5 見やすい紙面構成

無理なく学習を進められる2ページ見開き構成。
重要な情報は目立つ色で示しているので、学習のポイントをすばやくつかむことができます。

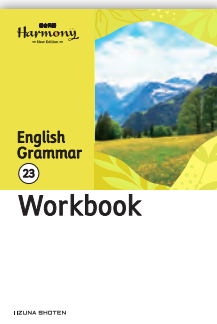


基本英文法の定着をはかるグラマー＆ワークブック 改訂



Grammar 23
英文法の重要項目をコンパクトに整理

いっずな書店編集部＝編
B5判 88頁
定価：693円（本体630円＋税）
●解答・問題文訳
B5判 44頁
定価：110円（本体100円＋税）



23 Workbook
英文法の基本が確実に身につく3段階構成でコンパクトに整理

いっずな書店編集部＝編
B5判 80頁
定価：583円（本体530円＋税）
●解答・問題文訳付属
B5判 44頁

Harmony I		Harmony II	
指導用教材	指導資料セット (指導用パワーポイント含む) 	収録内容 ① 指導書本冊 ② Teacher's Book (朱書本) ③ 補助プリント ④ 小テスト・評価問題 ⑤ 指導用データDVD-ROM (指導用パワーポイント含む) 定価：22,000円(本体20,000円＋税)	収録内容 ① 指導書本冊 ② Teacher's Book (朱書本) ③ 補助プリント ④ 小テスト・評価問題 ⑤ 指導用データDVD-ROM (指導用パワーポイント含む) 定価：未定
	Teacher's Book (朱書本) 	※上記②の単体での販売となります。 定価：3,850円(本体3,500円＋税)	※上記②の単体での販売となります。 定価：未定
	指導書本冊 PDF 	※上記①のPDF版です。 定価：5,500円(本体5,000円＋税)	※上記①のPDF版です。 定価：未定
	指導用音声 CD 	8枚組 収録内容：各課 Start-Up ／例文，本課外頁 定価：14,300円(本体13,000円＋税)	枚数：未定 収録内容：各課 Start-Up ／例文，本課外頁 定価：未定
	デジタル教科書(教材) 【アプリ版】 	収録内容：教科書と同じ内容 ＋αのコンテンツ 定価：27,500円(本体25,000円＋税)	収録内容：教科書と同じ内容 ＋αのコンテンツ 定価：未定
	デジタル教科書(教材) 【クラウド版】 	上記のクラウド配信版 定価：27,500円(本体25,000円＋税)	上記のクラウド配信版 定価：未定
生徒用準拠教材	生徒用音声 CD 	2枚組 定価：550円(本体500円＋税)	枚数：未定 定価：未定
	デジタル教科書 【クラウド版】 	収録内容：教科書と同じ 定価：1,100円(本体1,000円＋税)	収録内容：教科書と同じ 定価：未定
	デジタル教科書(教材) 【クラウド版】 	収録内容：教科書と同じ内容 ＋αのコンテンツ(解答は除く) 定価：2,200円(本体2,000円＋税)	収録内容：教科書と同じ内容 ＋αのコンテンツ(解答は除く) 定価：未定
	問題集 	All-in-One Workbook I 定価：605円(本体550円＋税)	All-in-One Workbook II 定価：未定
		Grammar Book 定価：605円(本体550円＋税)	—